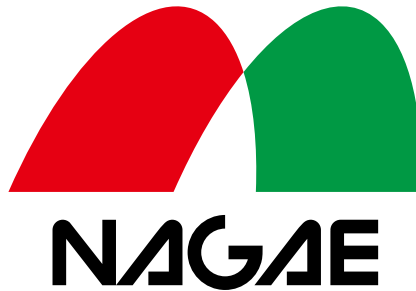


次
未
来
へ

NEXT FUTURE





長江建材

【新シンボルマーク・デザインコンセプト】

住宅・建築資材を扱うという、やや「固い」イメージを払拭できるよう、シンボルマーク全体のデザインは「長江建材」の頭文字である「N」を、あえて大文字ではなく小文字の「n」を基調としました。

そのデザインコンセプトは、丸みを帯びたフォルムによって「家の形」をイメージすることで、「家族」や「家庭」を、さらには「安心」や「安全」を表現いたしました。また同時にこの「n」は、need（必要とされる）、nature（自然体の）、nice（素敵な）の「n」でありたいとの思いをも、込めております。

シンボルマークのイメージカラーとして選んだ赤は、「尽きない情熱」や「思いやり」「温もり」を表わすと同時に、「困難や危険を恐れない心」との思いを込めました。

一方、緑には「心を穏やかにしてリラックスさせる」イメージがありますので、「安心感や安定感」「幸福感」を感じていただけることを期待いたしました。

目次

・飛躍	新社長からの挨拶	創立46年を経て新しい未来へ	長江孝文	4
・成熟	新会長からの挨拶	地域と共に発展そして夢へ	長江勉	6
・第1章	草創	創立からの30年（1971年～2001年）		9
・第2章	成熟	社長引継ぎから16年（2001年～2017年）		17
・懐かし記憶を呼び起こすメモリアルフォト				25
・会社概要	長江建材株式会社			32
・関連会社	総合設備株式会社・株式会社栄材			46
	株式会社夢の杜・株式会社NISHIKI WORKS			
・私の人生	波乱万丈の足跡	長江文男		54
・私の思いと心に残る「語録集」	長江文男			60

新社長からのご挨拶

創立46年を経て 新しい未来へ

飛躍





昭和 46 年に創立いたしました長江建材株式会社は、本年 2 月をもちまして満 46 年を迎えることができました。

創業以来、今日までわが社が企業として充実、発展してこられたのも、ひとえに皆様の温かいご指導とご支援、ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

私は本年、2 月 1 日より長江建材株式会社、代表取締役社長に就任を致しました。まだまだ若輩者ではありますがひと言、皆様にご挨拶申し上げます。

わが社は 46 年間、道東を中心に建築資材・建築金物・住宅機器の販売を通じて快適な地域の住まいづくり、暮らしづくりを提供してまいりました。そんな 46 年のわが社の歴史は、変化、革新の歩みでもありました。

先見の明とカリスマ性を兼ね備えた、父であり相談役でもある長江文男が長江建材株式会社を創業し、お客様の期待に応えるために、豊富な取扱商材や新商品の開拓、様々な事業に挑み、わが社の礎を築きました。一方、叔父であり会長でもある長江勉は、「企業の寿命は 30 年」と言われる中で、時代を読む分析力と精確性で、バブル崩壊後の経済環境の変化に臆することなく困難に立ち向かい、お客様の要望を汲み取り、商品の安定供給に努め、わが社を存続、発展させてまいりました。

そして私も、未だに景気不安や少子高齢化による人材不足などの課題もありますが、今後は新たな分野にも挑戦しつつ、今まで以上に地域の住まいづくり、暮らしづくりに目を向け、お客様に商品、サービスを通じて幸せ、喜び、感動、満足を提供し、みんなで明るくあたたかい職場をつくり、家族や協力企業様も幸せになれる会社を目指します。

私たちは、仕事を通じて、社員一人ひとりが地域との関わり合いを深め、環境に関心を持ち、安定した雇用を創出し、地域社会の健全な発展に貢献します。

みんなで会社に関係するすべての人たちを幸せにするべく、お客様、協力企業様への感謝を忘れず、最も信頼をできる社員と共に会社一丸となり社業発展に努める所存でございます。

今後とも皆様におかれましては倍旧のご愛顧とご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

長江建材株式会社 代表取締役社長

長江 孝文

新会長からのご挨拶

地域と共に発展、そして夢へ

成熟



創業者長江文男が昭和 46 年に長江建材株式会社を創立して以来、46 年の年月が経過しました。

この度、会社の体制も新しくなり、節目の年に記念誌を制作することになりました。

46 年もの長い間、社業を継続することができたのも、多くの方々のご支援ご協力のおかげです。そして会社を支えていただいた従業員や協力業者様のご苦勞とご協力のたまものでございます。改めて深く感謝申し上げます。

創業者の長江文男と共に、若かった私は長江建材の前身であります長江コンクリート工業時代はコンクリート製品の製造や配達の仕事に携わっておりました。私が 19 歳のころ創業者の長江文男がもしコンクリート製品が時代の流れと共に、別な商品に取って変わるようなことになっても、それらの商品を売る商売をしようとの思いから建築金物や大工道具販売などを経て建築資材を専門に扱う長江建材株式会社へ、日本の高度成長期とあいまってめまぐるしく時代も大きく変わっていきました。その頃がむしろに働いてきた事が今となっては良い経験だったと懐かしく思います。

平成 13 年、創立 30 周年を機に社長に就任、時代も変わって、釧路市の住宅確認申請数も昭和 53 年をピークに減少し続け、一軒あたりの建築資材納入金額は、5 倍以上に住宅資材の質



もかわっていきました。時代の流れに大きく左右されやすい建築業界ではありますが、これからも皆様にお力添えいただき長江建材株式会社を見守っていただければと思います。

記念すべき 46 周年、社長の私が会長に、また、創立者長江文男が相談役に、専務の長江孝文が社長へと役員が大きく入れ替わり新しい体制へと変わります。今後の建築業界に於いては職人さん不足や、地元工務店さんの地元受注率の低下、又、我社に於いても人材確保など問題が山積しておりますが、今後は社長をサポートしつつ長江建材の発展に力を注いで参る所存です。

長江建材株式会社 取締役会長

長江 勉

歴代の会社概要



1971



1991



1996



2001

第1章

長江 文男 相談役が語る

草創

創立からの30年。

1971~2001

長江文男相談役・記

創立からの30年。



設立の前後

昭和 39 年よりコンクリート製品の製造販売を始めました。今では住宅は基礎コンクリートで作りますが、当時はまだ束石、便槽でした。これらの製品作りは、コンクリート練り用のス Copp で、人力でこねくり回していました。

昭和 40 年頃からエンジン付きのミキサーで練り始めました。その頃からコンクリート製の束石や便槽が大量に売れるようになり、昭和 43 年に「長江コンクリート工業有限会社」を設立しました。また、この頃からコンクリート管も手掛けるようになりました。

昭和 45 年頃には年間売上額も 6 千万円ほどになりましたが、このまま商売を続けるには、さらに広大な土地と大型のプラント、そして

JAS マークも取得しなければならず、さりとて束石や便槽がいつまでも売れるとは思えないため、現状の維持はとても無理と考えるようになりました。

もしコンクリート製品が何かに取って変わるのであれば、それらの商品を守る商売をしようと、昭和 45 年 5 月 12 日から、建築金物や大工道具などを置く、20 坪ほどの店舗件事務所からの出発でした。設立当初の給与は、代表の長江文男（現・相談役）が 7 万円、長江勉（同・会長）が 4 万 3 千円、当時経理を担当していた保坂宏子が 2 万 9 千円というものでした。

昭和 46 年 2 月 1 日に新たに「長江建材株式会社」を設立し、現在の当社の第一歩が始まります。すると、昭和 48 ～ 49 年頃から基礎コンクリートで家が建ち始め、束石や便槽の需要衰

長江建材株式会社 5周年を迎えて 5年のあゆみ		
昭和46年 2月1日創立	資本金	500万円
46年度 年商売上高		129,000,000
昭和47年 議長会発足		
47年度 年商売上高		214,700,000
昭和48年度 年商売上高		359,400,000
昭和49年度 年商売上高		415,700,000
49年増資 500万円により資本金 1,000万円となる		
昭和50年度 年商売上高		570,000,000

社員構成		
代表取締役	長江	文男
専務取締役	須藤	重敏
常務取締役	長江	勉
取締役営業部長	広井	哲史
営業課長	桜田	雅之
	三本	木安子
	吉田	きよ子
経理課長	保坂	宏子
	大石	垣加代子
配送課長	渡辺	正男
	田島	登誠
在庫管理主任	中塚	宏
	藤田	イワ子
設備係	赤沼	雄治

御礼のことば

この際、弊社の創立5周年に際しまして、皆様より特段の御厚情を賜り、誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

さういふ中、長江コンクリート工業部として、おりました私共が時代の流れによりコンクリート製品における商品が部で来た。結合を、これを統合する。想を、おこななければならぬ。思い、思ったのが、長江建材の足元の基礎と成りました。

以上、この5年間のいろいろな事が、御座りました。が、今、当社を、ここまで育てて下さいました。事はひととに、皆々、御協力と御厚情の賜。今後、私共の発展の一助と御座ります。

今後、私共の発展の一助と御座ります。御厚情の賜。今後、私共の発展の一助と御座ります。

御厚情の賜。今後、私共の発展の一助と御座ります。

長江 文男



退が始まります。

設立当初は建築資材の名前も分からないため仕入先も分からず、問屋らしき会社をお願いに行っても断われました。建築屋さんには在庫する物を教わり、市内の販売店に行って「業者に販売するから安くして下さい」と現金で仕入れ、買い値のままで販売すること1年。業者さんも安いと、結構買って下さいました。2年目あた

りからは問屋が出入りするようになり、仕入にも困らなくなりました。

まず「信用と奉仕の精神」を第一に仕事に取り組んだことで、当時の「釧路大工組合」とのつながりも生まれるなど、会社の発展にとって大きな力となりました。当時は「長江と取引していない業者は恥ずかしい」と言われたものです。

当時の経営指針

1. 信用と奉仕 …………… 信用を得る事、奉仕の精神で取り組む事。
2. 先手必勝 …………… プロに勝には、プロよりも先手必勝。
3. 蒔かぬ種は生えぬ … 私共は農耕民族、種を蒔かずに実を取る事は出来ない。



次の「先手必勝」は、当時は新しい建築資材の開発途上にあり、同業者に勝つにはより新しい商品を先に発掘し、販売することに力を入れるということです。当社における、これら新商品の販売は、後に多くのヒット商品を生み出すことになり、「北海道における新商品のトレンド」を作るまでになりました。

発展の足跡

昭和47年に「長江建材 住宅設備展示会」を、同業他社に先がけて開催しました。当時は野外の「空き地」での開催で、現在「川本第一製作所」のある場所が、最後の野外展示会場となりました。昭和48年ごろから当時の「オリエンタルホテル」（現・釧路プリンスホテル）で開催し、

会場が室内ということで、業界でも大きな話題になりました。昭和51年には「創業5周年記念パーティー」を盛大に開催しました。

昭和48年に起こった「第一次オイルショック」は、当社の発展に大きな原動力となりました。当時、商品が値上がりする前に大量に買い占めし、在庫しました。これも「先手必勝」の精神です。同業者には在庫がなくても、当社は商品であふれていましたので、売って売って売りまくりました。

昭和51年には土地を購入して現在の社屋を建て、昭和52年1月に引っ越しました。わずか20坪の借家から、土地3,588㎡（1087坪）建物2,089.8㎡（633坪）の自社社屋を構えるという、創業5年目にしての大事業でした。私自身、あまりの社屋の大きさに、身の引き締ま



る思いがしたものです。

5年目の売上げは5億7千万円ほどでしたが、新社屋建設のために借った借金を返済するには、年間の売上げが10億円以上ないと、採算が合わないというのも覚悟の上でした。この時期には、「長江は倒産するぞ」という噂も出ましたね。目標の売上げ10億円を達成できたのは、昭和54年のことで、この年には11億900万円の数字を上げることができました。

当社の年間・現金売上の最高記録は昭和55年の8,290万円です。現在の現金売上は1千万円ほどしかありませんから、ホームックさんの影響が大きかったようです。

昭和52年3月に、建築士事務所である「長江建材(株)設計事務所」を登録し、建築業者さんのお手伝いをしてきましたが、これは10

年ほど前に廃止しました。

昭和53年にはNTTのコンピューターシステムを取り入れ、事務の電算化に取り組みました。当時まだ、釧路の企業でコンピューターシステムを取り入れている所など、どこにもなかったですね。3年ほど後からは自社オリジナルのコンピューターシステムを取り入れ、今日に至っています。

昭和53年から2年くらい、着物の展示会を当社の店舗内で行いました。この展示会も大きな話題になりました。なにせ建材店ですからね。最初の売り上げは1,700万円ほどになったと思います。その後に羽布団、ダウンジャケットなど売上高は4～5,000千万円売ったような記憶があります。建材店ですから一時の商売で辞めました。



昭和 55 年には「製作金物課」を新設し、新規事業に取り組みましたが、利益を出せずに 59 年に廃止しました。担当となった技術者の、能力不足によるものでした。

昭和 57 年に「山西水道工務店」が倒産したため、再建の依頼を受けました。現在は社名を変更して「総合設備株式会社」となっています。

当初は釧路市の指名業者ということもあって「すぐに何とかできる」との思いで取り掛かりましたが、最終的に損失を解消するまで 15 年ほどかかりました。大変な苦労の連続で、私にとっては命賭けともいえる闘いでしたが、こんな苦労は二度としたくないものです。

現在では当社の子会社として、業界でもナンバー 3 に入る優良企業に成長したと自負しております。

昭和 61 年決算期で 15 期、年間売上額も 15 億 2 千万円ほどになりましたが、大きな山も谷も乗り越えて歩んだ 15 年でした。





平成と言う時代へ

昭和 64 年 1 月、昭和の時代が終わり、平成の時代を迎えました。

平成 3 年には「創立 20 年記念」のパーティーも、盛大に行ないました。

平成 5 年には「長江コンクリート有限会社」と「総合設備株式会社」を合併し、「長江コンクリート」の余剰金 4,700 万円（川本第一製作所）に売却した土地代金を、合併により贈与しました。

平成 5 年 11 月 19 日、小野建設さんの現場で、下請け業者による工事火災が起きました。本来なら建築業者には、火災保険に入る義務がある訳ですが、それが入っていなかったことから弁済問題となり、当社が代わりに損害額の 2,600

万円を支払う事になりました。

また平成 5 年 1 月 15 日に発生した「釧路沖地震」は、マグニチュード 7.5、震度 6 という大地震で、当社でも社屋や商品に大きな被害を出しました。

平成 8 年・25 期には、当社の最高売上げ額となる年間 25 億 2 千万円を記録しました。しかし、この頃から建築業界は厳しさを増し、やがて「冬の時代」へと突入して行きます。

釧路市における住宅確認申請数は、昭和 53 年がピークで 3,709 件もありましたが、現在の平成 28 年度では、わずか 581 件となっています。

平成 10 年・27 期の年間売上高 22 億 4,700 万円から、翌 11 年には 15 億 8,300 万円にまで減少してしまいました。特にこの年は、建築業界では厳しい状況が見られ、市政も鰐淵市長が



創立30周年記念 長江建材株式会社 平成13年4月15日



ら綿貫市長へと変わりました。

当社でも、これらの変化に対応すべく、年間売上高の目標を15億5千万円に設定し、人員や経費の削減に取り組んだことから赤字決算を回避でき、純利益200万円台で終わることが出来ました。この年の同業他社には、8千万円近くの赤字決算を出した所もあったと聞きます。

平成13年・30期は、売上高19億5千万円で終わることが出来ました。ここまでの30年間を振り返っただけで、創立当時に145社もあった「お得意様」は、わずか8社にまで減少していました。ほとんどの会社が倒産か廃業しており、当社は毎年1千万円前後の不良債権が発生していました。

この年、社長のイスを11歳年下の弟、長江勉に譲ることを決意し、創立30周年記念およ

び新社長就任のパーティーを盛大に行い、さらなる若い感性に、新しい時代を託しました。社長を退いた後も、人には感謝と思いやりを、そして「報・連・相」は絶対に守ることを胸に、新しい事業に取り組む夢を描いていました。



第2章

長江 勉 会長が語る

成熟

社長引継ぎから 16 年。

2001~2017

長江勉会長が語る

社長引き継ぎから16年。



30周年感謝の夕べ



私の思い出

私は昭和46年の「長江建材」創業前から、兄である長江文男の下で、前身である「長江コンクリート工業」時代よりコンクリート製品の製造や配達に携わってまいりました。当時は営業らしい営業を行わなくても、いい製品さえ作れば売れる時代でしたので、まだ未成年だった私の仕事は、もっぱら製品の製造や配達でした。

創業当時は、社長が兄の文男でようやく20歳になった私が常務、事務担当の保坂の3人からスタートでしたが、父の親友であった須藤重敏氏が専務として間もなく手伝う事になる。

兄文男の妻の兄であった廣井哲史を1年後に部長として迎え、とくに須藤さんは土地、建物

を貸して頂き、当社にとっては忘れられない大恩人です。新社屋に引っ越し時には全員で7名でしたが引っ越し後は15名の体制になりました。私はといえば、常務とはいってもまだ二十歳の若造でしたから、私の仕事は浴槽に風呂釜を取り付けたり商品を建築現場に届ける配達が専門でした。

昭和63年には須藤専務が定年退職した関係で専務に就任、平成13年には当時の長江文男社長が5年程前から60歳になったらお前に社長を譲ると言っておりまして、創立30周年を機に兄の跡を継いで社長に就任することになりました。「創立30周年感謝の夕べ」開催では、取引業者様や仕入先様、協力業者様など関係各位の皆様にご臨席を賜り、創立30周年記念及



び新社長就任のパーティーを盛大に祝って頂き心より感謝申し上げますと共に、責任の重さを感じたところで有ります。

社長就任後に最初に取り組んだ大仕事は、それまで手書きの伝票で処理を行っていた経理業務を、完全に電算化するというものでした。すでに昭和の終わり頃にはワープロなどを導入してのOA化は行っていたものの、その後10年以上も伝票だけは手書きだったため、商品のコード番号や価格のチェックが大変なアナログ作業が続いていたのです。これらをすべてパソコンで行う完全OA化が達成されたのは、平成17年頃のことでした。

口で言うのは簡単ですが、全ての作業工程をフローチャートに落とし込み、業務の簡素化・

効率化を実現するための移行作業を進めるのには、実に苦労しました。移行前には経理担当の女性社員が7名いても、月末ともなれば連日の残業が続いたものでしたが、移行後はほぼ残業もなくなって「早く帰れるようになってうれしい」と、とても喜ばれました。現在では経理を担当する女性社員も4人で行っています。

平成17年1月には社員旅行で中国へ行き、瀋陽・北京・上海などを観光しました。残念ながら2班に分れて行くことにはなりましたが、食べ物は私にとってはとても美味しかったのと、ガイドさんが車の事故で出発時間に間に合わず、見習いのガイドさんがおりましたので少し遅れて出発。お詫びに上海蟹を一匹ずつおまけしてくれたのと、シルクの敷き布団までいただき、



とても思い出に残る楽しい社員旅行でした。

会社に入って46年になりますが、最初の常務時代を17年、社長を補佐する専務時代を13年、自ら全社の指揮を執る社長を16年間務めさせていただきました。そんな社長時代でも、特に思い出深いのは、平成20年頃から始まった建築業界の「冬の時代」です。商品を納入していた建築会社や工務店がバタバタと倒産し、平成19年には6社の貸し倒れが発生し創業以来、最高の7,570万円の不良債権を計上してしまいました。経済不況の流れとは言え、社員の皆さんや仕入先・協力業者の方々にご心配をかけ重荷を感じた年でありました。

もう一つは、平成18年からスタートした「バイオマテックジャパン」でのプロテオグリカン

製造事業でしょう。きっかけは釧路工業技術センターでのセミナーでプロテオグリカンの話を講師の工藤義昭氏から聞き後に工藤氏から文男相談役にスポンサーの話が有り将来性を見込んで名乗りを上げたことでした。最終的に7社18名が株主となって設立を果たしたのですが、ご存知の通り1回目の爆発火災事故により、平成25年に手を引くことになってしまいました。しかし、本当に懐かしく思い出されるのは、やはりまだ自分が若かった常務時代のことです。国全体が高度経済成長によって景気がよく、成長を続けていた時代でした。中でも創業当初から始まった「展示会」は、忘れることができません。

兄の文男も述べているとは思いますが、昭和



47年から始まった展示会は51年までは屋外で開催していました。昭和48年には会場をオリエンタルホテル（現・釧路プリンスホテル）に移し、「釧路初の屋内展示会」として業界の注目を集めたことも懐かしい思い出です。

昭和50年初期から会場も今は無くなってしまった「厚生年金体育館や太平洋スカイランド」に移すなどしてしばらくは続けましたが、やがて業界全体の景気が、かつての活気を失ってしまったため、休止することになった時は、何とも残念でした。

また、この時期には新社屋の建設で大きな借金を背負ったという危機感から、社員全員でなりふり構わない販売活動にも取り組みました。商材は、本業の建築資材ではありません。当時、

全国的にも新商品として話題になっていた羽毛布団や、女性客をターゲットとした貴金属・着物などです。外商に不慣れな我々などが簡単に売れるものではなく、実際には親類や友人を呼び倒して買ってもらっていたものの、そんな無理が長続きするわけもなく、3年ほどは行いましたが、社員からの反対によって取り止めとなりました。

その後、平成11年から国際交流センターを会場に復活した展示会は、その名も「グッと住まいる夢フェア」と銘打って、盛大に開催することとなります。その目的は、工務店のお客さまや、エンドユーザーである市民に実際に見てもらい、購入してもらおうというものでした。情報化時代を迎え、住宅建築に対する施主のこだわりが



高まったことを受け、工務店からの提案の手助けをするとともに、新たな仕事の掘り起こしにつなげようという思いからでした。

その後、再び休止することとなった平成23年まで、このイベントを13回ほど続けました。当初、800万円ほどの経費が掛かっていたものを、外注していた作業を自社スタッフで行うなどして300万円ほどにまで圧縮したものの、折からのリーマンショック不況により、さらなる経費削減の必要が生じたためでした。そもそも、社内からも「費用対効果が解からない」という意見がありましたので、工務店様に行ったアンケート結果でも、さほど支持されていないことが判明したからでもありました。実際、休止をしても売り上げが減ることはほとんどありませ

んでした。

2月・3月札幌で開催される岩倉建材(株)・(株)クワザワ・(株)キムラ・ジャパン建材(株)の展示会へ毎年80社ほどのお得意様をご招待し、展示会場を見て頂きお仕事の参考にして頂くことと、お客様と懇親を深めるための場として年度初めの一大イベントであり、最大の工務店様支援であります。

もう一つ、私の発案によって実現したのが本社内に設けた「プレゼンルーム」という、工務店様向け営業支援システムでした。これは、製品の納入先である工務店が、施主に対して行う住宅建築のプレゼンテーションを手助けすることを目的としたものでした。こちら6、7年ほど続けましたが、やはり費用対効果が上ら



ないということで廃止することになりました。

かくも左様に、景気の善し悪しによって業界全体の好不調が左右されてしまう住宅建築ではありますが、東京オリンピックの行われる2020年までに、省エネ住宅に対する国の政策が、これまでと大きく変わります。かねてより推奨されていた高断熱性能や高効率の省エネ設備により、年間の一次エネルギー消費量を実質ゼロにする「ゼロエネルギー住宅」を、標準的な新築住宅に目指すというものです。

あくまで目標とはいえ、大手のハウスメーカーが続々と釧路にも進出して来ていることを考えますと、今後の地方都市における工務店は大変だと思います。もともと釧路地区における地元企業の住宅建築受注率は4割ほどしかなく、8

割を誇る十勝地区と比べて競争力の低いことが指摘されてきました。全国規模を誇る大手ハウスメーカーの住宅は、価格的に割高と言われますが、これらの省エネ性能やデザイン性、ブランド力に優れているため、年間10棟以下の受注しか取れない中小規模の工務店は、厳しい状況が予想されます。

長江建材(株)・総合設備(株)合同安全大会開催は、毎年春先に協力業者及び両社の社員が200名ほど参加して開催しております。安全講和を講師にお願いし一年間の無事故、無災害と安全に対する意識を高める合同の取り組みであります。

楽しい 思い出の 一コマ

ここまで、仕事を中心に書いてきましたが
楽しかった出来事などを書きましようか…。

昭和48年には、お得意様20名前後をご招待しハワイ旅行また翌年はタイ旅行もしましたね、当時は税務署もそううるさくない時代でもあった。



昭和46年から10年間ほど続けてきた社員の家族との慰安旅行、運動会やゲームなど遠距離は小樽水族館、余市のぶどう狩りなど、楽しい慰安旅行でしたね、社員だけの慰安旅行で昭和50年1月13日常磐ハワイアンセンターその後松島など観光旅行しました。社員、その家族と

仲良く出来て
一体感が
あって楽しかったですね。



また昭和52年から10年間くらい、社員の奥様会があって奥様方とも交流を持つことも出来ました。経済は高度成長期にあり良い時代でした。



昭和52年から25年間、私の家内と廣井常務の奥さんバートの3人で社員食堂のまかないをしていただき同じ釜の飯を食べ社員との絆も深まりました。



懐かしき記憶を呼び起こす
メモリアル フォト



Album



昭和 52 年新店舗開設 店内ショールーム



立っているのが昭和 50 年初期の会長



営業会議風景です



昭和 50 年前後の展示会風景



建築業者との親睦組織 建築長会





若かりし頃の現在の社長



昭和56年2月19日 長江建材株式会社

昭和56年2月19日創立10周年



野遊会風景です。美女軍団こんなに居たの？



私の誕生日だったと思います。幾つかな？



蛸名市長（法人会 陳情）



阿寒と釧路湿原、2つの国立公園がある街

釧路でお待ちしています!

 法人会全国大会北海道大会 2012.10.11①

2011/10/06

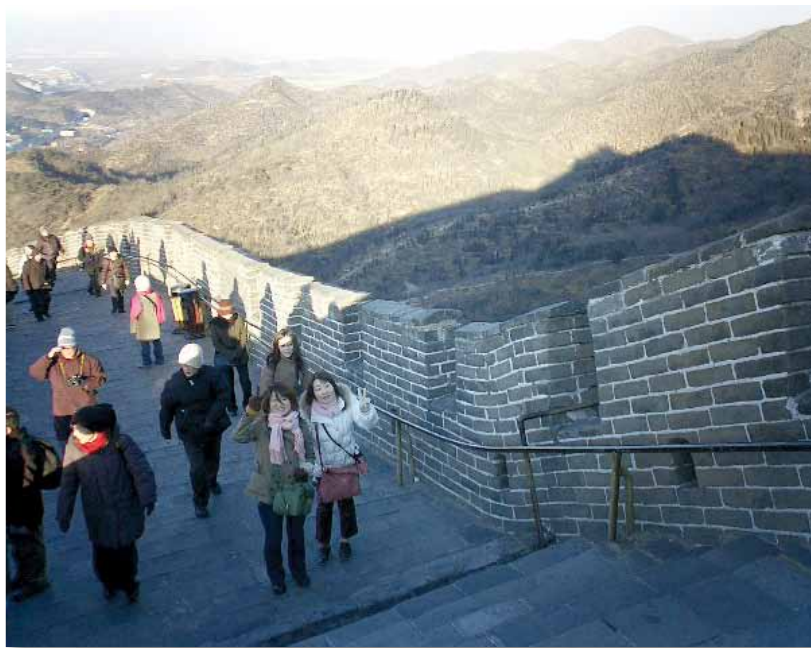


• • • 28 • • •



当社は政治家様との付き合い多かったですね。





万里の長城のスケールの大きさに
びっくり？
延長は 6,259.6km



2005 年 中国社員旅行
中国 4000 年の歴史に触れた初の楽しい海外社員旅行でした。



新釧路川河川敷での長江建材・総合設備合同の花見、
天気に恵まれ最高！！



新年会での一コマです。



2010 年元島史絵さんの送別会です。



2015 年社員との新年会風景です。(あかん遊久の里 鶴雅)



1 期 2 年 3 期目の建材協会会長に就任 (会員数 22 社)



会社概要



長江建材株式会社

●所在地

〒085-0008 釧路市入江町 12 番 19 号
TEL 0154-24-4141 FAX 0154-22-9391

●会社設立 昭和 46 年 2 月

●資本金 4,800 万円

●平成 28 年度売上高 1,324,938,000 円

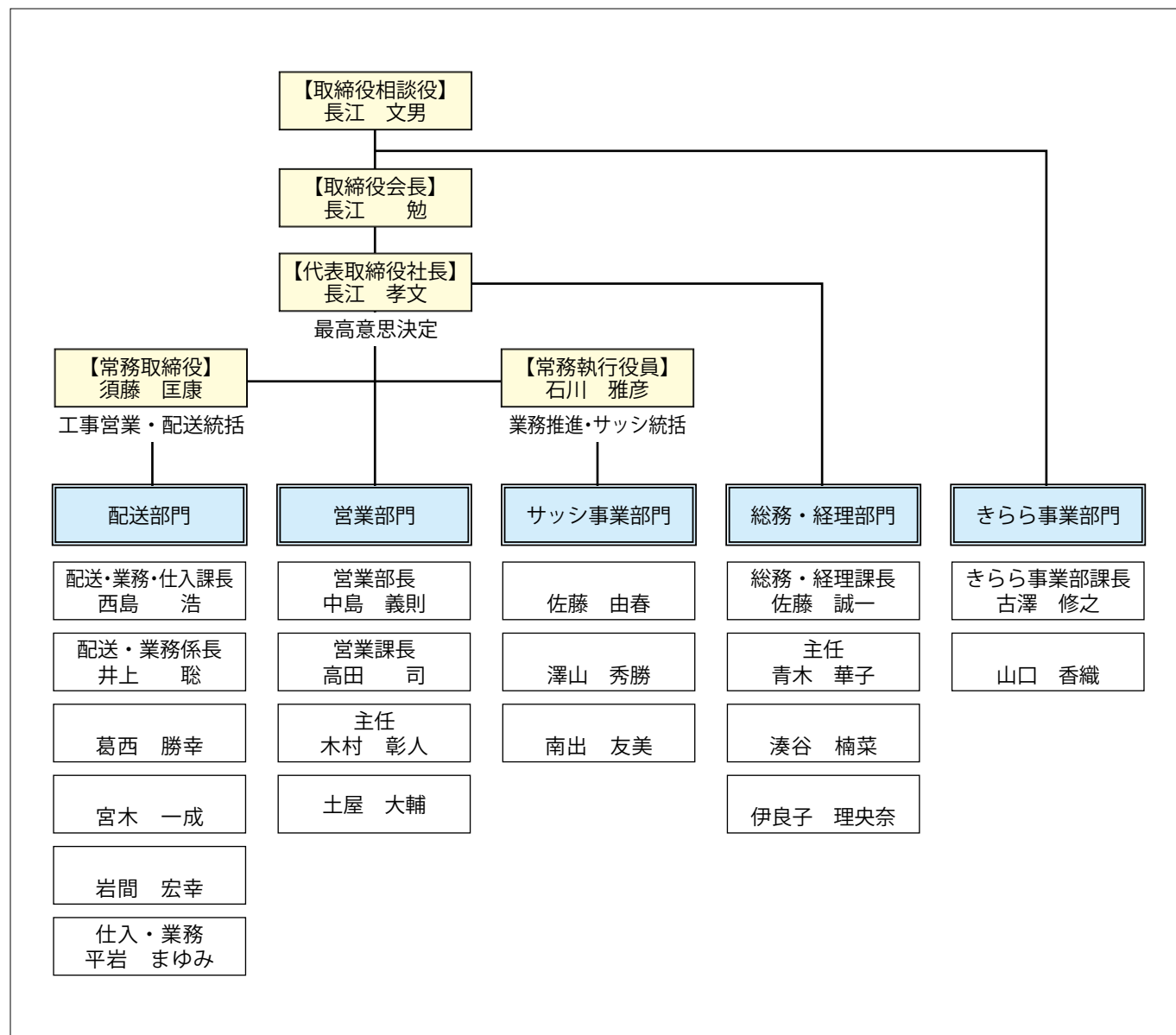
●役員、社員数 24 名

●役員

代表取締役社長	長江	孝文
取締役会長	長江	勉
取締役相談役	長江	文男
常務取締役	須藤	匡康
常務執行役員	石川	雅彦

組織図

作成：平成 29 年 2 月 1 日



経営理念

- ・ 経営環境の変化に積極的に対応し、お客様と共に発展する。
- ・ 企業力を高め地域社会の健全な発展に貢献する。
- ・ 働き甲斐のある職場を作り社員の生活を豊かにする。

社 訓

- 一、きまりを守り、教養を高め、お客様の立場で考え良い会社を作りましょう。
- 一、元気であいさつ、互いに助け合い、明るく楽しい仕事をしましょう。
- 一、心を豊かに、夢を育て協力し住みよい街を作る仕事をしましょう。
- 一、健康でよく働き、ありがたいの心で、明るくあたたかい職場を作りましょう。
- 一、お客様に感動を、家庭に豊かな夢をそんな未来を目指しましょう。

建設業許可

・許可登録免許

1. 一般建設業許可知事（般-28）釧第 01403 号

建設工事業	大工工事業
とび・土木工事業	内装仕上工事費
熱絶縁工事業	解体工事業

事業内容

- ・ 建築資材、建築金物、住宅機器、木材類の販売
- ・ 健康食品、化粧品の小売販売

主な資格・技術者数

2 級建築施工管理技士	7 名
2 級建設業経理事務士	1 名
小型移動式クレーン	4 名
玉 掛	4 名
フォークリフト	3 名
ショベルローダー	1 名
福祉住環境コーディネーター	1 名

取引先

各建設業者・工務店・大工・土木業者・建具業者
設備業者・釧路市役所・釧路支庁・北海道警察署
自衛隊・釧路職業能力開発促進センター
お取引先／ 450 社

仕入れ先

秋山興業株式会社	株式会社 新宮商行
岩倉建材株式会社	株式会社 創建
株式会社 川本第一製作所	文化シャッター(株)
釧路片山鉄建株式会社	松永トイシ株式会社
株式会社 キムラ	富士化学工業株式会社
株式会社 クワザワ	永浜クロス株式会社
株式会社 釧路ガス	三和シャッター工業(株)
昭和木材株式会社	明和株式会社
ジャパン建材株式会社	株式会社 北海道東リ
三洋工業株式会社	株式会社 LIXIL
総合設備株式会社	(株)ヤマチコーポレーション
太平洋建設工業(株)	株式会社 丹波屋
株式会社 鉄建	日本建機サービス販売(株)
(株)ディンプレックス・ジャパン	株式会社 角一商会

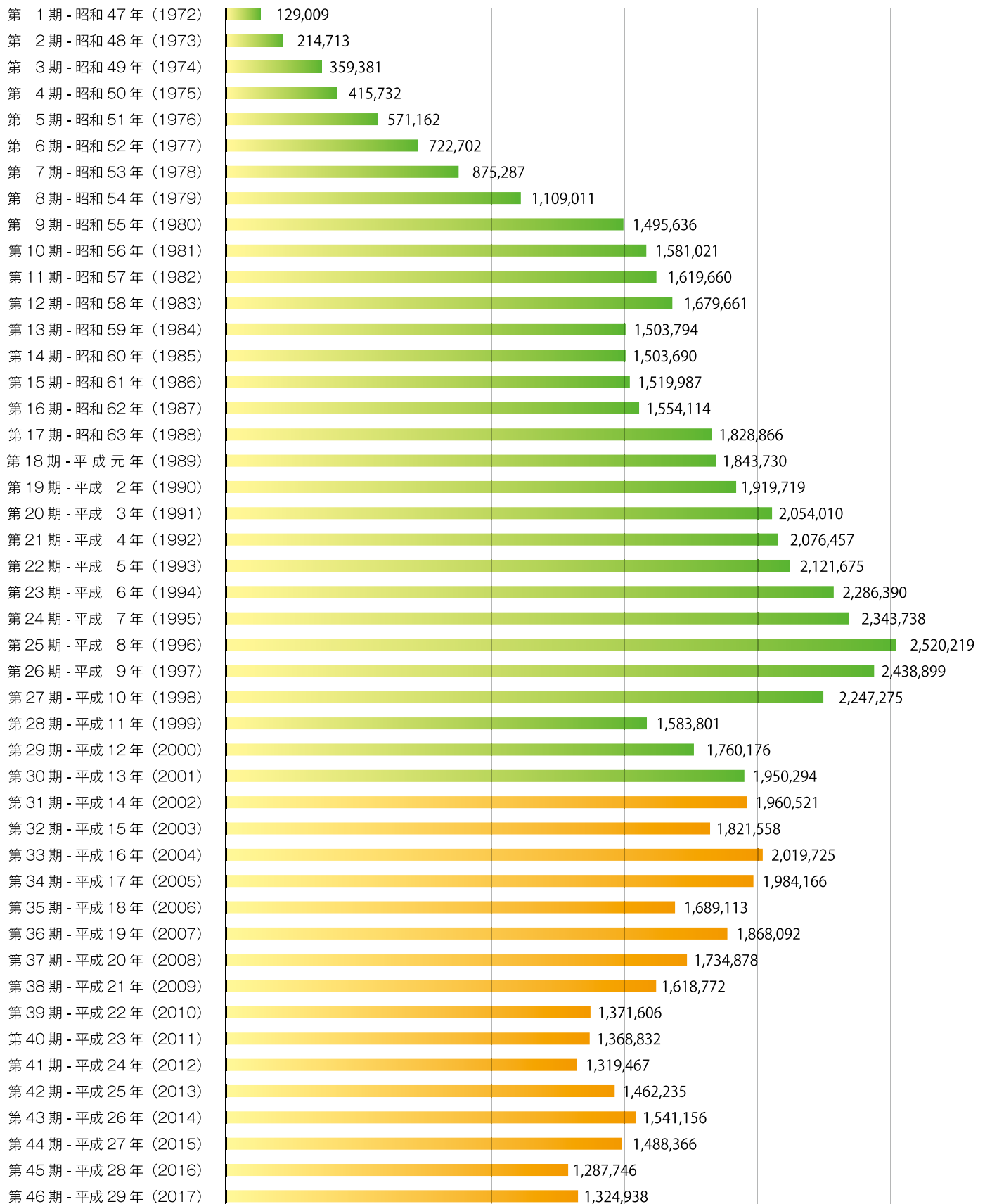
メーカー名

旭化成建材株式会社	株式会社ノダ
旭トステム外装(株)	パナソニックエコソリューションズAWE(株)
株式会社 ウッドワン	パナソニック(株)エコソリューションズ社
(株)エーアンドエーマテリアル	パラマウント硝子工業(株)
クリナップ株式会社	フクビ化学工業株式会社
ケイミュー株式会社	マグ・イソベール 株 式 会 社
株式会社 コロナ	丸玉産業株式会社
札幌ベニヤ株式会社	吉野石膏株式会社
城東テクノ株式会社	株式会社 LIXIL
大建工業株式会社	YKK AP株式会社
ダウ化学工業株式会社	アルインコ建材株式会社
タカラスタンダード(株)	(株)ナスタ 札幌支店
チヨダウーテ株式会社	コニシ(株) 札幌支店
TOTO株式会社	(株)ダイケン 札幌支店
日本板硝子株式会社	マックス(株) 札幌支店
株式会社ノーリツ	

取引銀行

北洋銀行 鳥取支店
大地みらい信金釧路東支店
北海道銀行 鳥取支店
日本政策金融公庫

売上高推移



単位：千円

激動の時代に刻まれた長江建材の軌跡

◆昭和 46 年

7/30 岩手県雫石で全日空機と自衛隊機が衝突、
162 人死亡

8/28 1 ドル 360 円時代が終わる

12/27 鶴丘スキー場が完成

◆昭和 47 年

2/3 札幌冬季オリンピックが開催（～ 13 日）

4/3 カーフェリー「まりも」が釧路～東京間に就航

5/15 沖縄が本土復帰

◆昭和 48 年

1/26 市立釧路図書館が改築

10/17 第 4 次中東戦争によるオイルショックが起こる

◆昭和 49 年

3/10 フィリピンのルバング島で元日本兵・小野田
寛郎少尉を発見

12/10 釧路川河畔に河畔駐車場が完成

◆昭和 50 年

4/30 ベトナム戦争が終結

10/1 釧路市動物園が開園

◆昭和 51 年

2/6 ロッキード事件が発覚

11/26 現在の 5 代目常盤橋が完成

◆昭和 52 年

9/3 王選手がホームラン 756 号の世界記録を樹立

10/16 市長選挙で鰐淵俊之氏が初当選

◆昭和 53 年

5/21 成田空港が開港

10/28 第 1 回くしろ菊まつりが栄町公園で開催

◆昭和 54 年

11/3 釧路市民文化会館がオープン

12/24 ソ連軍がアフガニスタンに進攻する

◆昭和 55 年

6/17 釧路湿原がラムサール条約の登録湿地に指定

7/19 モスクワ五輪が開幕、日米は不参加

9/22 イラン・イラク戦争勃発

◆昭和 56 年

7/19 千代の富士が横綱に昇進

11 月 3 代目久寿里橋が完成

昭和 46 年

2 月 1 日 釧路市新川町 5 番地 10 に「長江建材株式会社」を
総員 4 名にて設立。資本金 500 万円。

昭和 47 年

1 月 「お客様ハワイ招待旅行」を実施。

4 月 「住まいと暮らしの長江建材 住宅設備展示会」を屋外会
場にて開催。以降、毎年開催。

4 月 7 日 建築業者との親睦組織である「建長会」発足。以降、
昭和 59 年まで 13 年に渡って活動を続ける。

昭和 48 年

1 月「お客様バンコク招待旅行」を実施。この頃「第一次
オイルショック」起こる。また、この頃より「住宅設備展示会」
を「オリエンタルホテル」（現・釧路プリンスホテル）で開催
し、業界の話題に。

昭和 49 年

3 月 資本金を 1,000 万円に増資。

昭和 50 年

1 月 初めて本州への慰安旅行として宮城県松島・福島常磐
ハワイアンセンターへ。

この年の売上は 5 億 7 千万円を記録。

昭和 51 年

1 月 31 日 「創業 5 周年記念パーティー」を開催。釧路市大
工組合に建築業界の発展と技能者育成のための運営資金とし
て 50 万円を寄付。

5 月 社屋移転計画に伴い、現在の土地 3,588㎡（1087 坪）
を購入。

7 月 資本金を 3,000 万円に増資。

12 月新社屋 2,089.8㎡（633 坪）を建築。

昭和 52 年

1 月 事務所の引っ越しを完了。

2 月 ハウジング部門を強化して本社内に大型ショールーム
をオープン、設計部・住宅相談コーナーなどを設ける。

3 月 建築士事務所を開設。北海道知事登録（釧）第 275 号「長
江建材（株）設計事務所」と称する。

昭和 53 年

7 月 釧路市民文化会館の建設資金として、50 万円を釧路市
に寄贈する。

10 月 一般建設業許可登録をし、登録認可。北海道知事登録
（般一 53）第 1403 号。

この年、釧路市における住宅確認申請数がピークを迎え、
3,709 件を記録。

同じ頃、NTT のコンピューターシステムを導入。56 年には自
社オリジナルのシステムに転換。

この年、着物の展示会を本社店舗内で開催。3 年後に廃止。

昭和 54 年

売り上げ額 11 億 900 万円を達成。

昭和 55 年

8 月 7 日 釧路市に公園美化のための「くずカゴ」100 個を寄贈。

8 月 15 日 社員の家族慰安行事として、運動会を標茶町の磯
分内中学校グラウンドにて開催。

同じ頃、「製作金物課」を新設。59 年に廃止。

昭和 56 年

4 月 資本金を 4,800 万円に増資。同月、宅地建物取引業者
免許を取得。北海道知事釧路（3）第 299 号。

10月 釧路市総合福祉センターの建設に当たり、資金を寄贈。

4月1日 「山西水道工務店」の再建を引き受け「総合設備株式会社」として設立。

6月 建築業法に基づく昭和58年度建築施工管理に関する2級建築施工管理士(仕上げ)試験に2名が合格、資格を取得する。

1月 釧路市入江町12番4号に駐車場として土地1,322㎡、建物275㎡を取得。

12月 釧路市入江町12番19号に本社社屋118.8㎡を増築、さらに倉庫388.8㎡を新築。

2月8日 創立20周年を記念し、赤十字事業基金として200万円、釧路市社会福祉事業整備基金として100万円を寄贈。さらに釧路聖徳太子堂の改修工事に資金寄贈。

3月23日 創立20周年記念パーティをキャッスルホテルにて開催。

1月15日 午後8時6分、釧路沖地震発生。M7.8の大地震で、本社屋も大きな被害を受ける。

「長江コンクリート有限会社」と「総合設備株式会社」を合併。「長江コンクリート」の余剰金4,700万円(川本第一製作所)に売却した土地代金を、合併により贈与。

最高売上げ額となる年間25億2千万円を記録。

年間売上高22億4,700万円。

5月8・9日 「グッと住まいる夢フェア'99」開催。入場者数911名。

4月8・9日 「グッと住まいる夢フェア2000」開催。入場者数804名。

5月17日 第5回長江グループ三社合同安全大会開催。以降、毎年の開催となる。

10月1日 営業職全員にノートパソコンを支給。パソコンとプロジェクターを活用した営業会議を開始。

4月7・8日 創立30周年記念感謝祭「グッと住まいる夢フェア2001」開催。入場者数1223名。

4月20日 創立30周年を記念して、釧路市に社会福祉整備基金として100万円を寄贈。さらに釧新教育芸術振興基金に10万円を寄贈。

長江勉が代表取締役社長に就任、創立30周年記念および新社長就任のパーティーを開催。長江文男は会長に就任。

新たに不動産事業に乗り出す。

昭和56年

昭和57年

昭和59年

昭和60年

昭和62年

平成3年

平成5年

平成8年

平成10年

平成11年

平成12年

平成13年

◆昭和57年

2/8 ホテルニュージャパン火災で、32人が死亡

◆昭和58年

釧路では市民球場、春採アイスアリーナ、市立博物館が相次いでオープン

◆昭和59年

1/23 釧路湿原展望台がオープン

◆昭和60年

3/10 青函トンネルが開通

8/12 日航ジャンボ機が群馬県御巣鷹山に墜落、520人が死亡

◆昭和61年

4/26 ソ連のチェルノブイリ原発で爆発事故

◆昭和62年

4/1 国鉄が分割民営化され、JRが発足

7/31 釧路湿原が国立公園に指定される
この頃より東京で「バブル経済」が始まる

◆昭和63年

3/13 青函連絡船が終航、青函トンネルが開業

4/14 釧路公立大学が開学

◆平成元年

1/7 昭和天皇が崩御、元号が平成に

4/1 消費税(3%)スタート

6/4 中国・北京で天安門事件が発生

7/14 釧路フィッシャーマンズワーフMOOがオープン

11/9 ドイツでベルリンの壁が崩壊

◆平成2年

3/15 ゴルバチョフがソ連の大統領に

10/3 東西ドイツが統一

◆平成3年

1/17 湾岸戦争が勃発

12/25 ソビエト連邦が崩壊

◆平成4年

9/12 毛利衛が米スペースシャトルで宇宙へ

11/1 釧路市生涯学習センター「まなぼとて幣舞」がオープン

◆平成5年

1/15 釧路沖地震(M7.8)が発生し、釧路市で震度6を記録

6/3 釧路市観光国際交流センターが完成

6/9 皇太子殿下と雅子さまが結婚

7/12 北海道南西沖地震が発生

◆平成6年

6/27 オウム真理教による松本サリン事件発生

10/4 北海道東方沖地震が発生し、釧路市で震度6を記録

◆平成7年

1/17 阪神・淡路大震災発生。

3/20 オウム真理教による地下鉄サリン事件が発生

◆平成8年

4/22 「山花温泉リフレ」がオープン

7/13 病原性大腸菌O-157による集団食中毒が発生

◆平成9年

4/1 消費税が3%から5%に増税

11/17 拓銀が経営破綻

◆平成10年

2/7 長野冬季五輪が開幕

7/25 和歌山市で毒入りカレーライス事件発生

10/23 道立釧路芸術館がオープン

◆平成11年

1/1 欧州がユーロ導入

4/11 東京都知事選で石原慎太郎が当選

◆平成12年

1/8 JRが「SL冬の湿原号」を運行開始

9/15 シドニー五輪でマラソンの高橋尚子が金メダル

9/23 昭和に「ジャスコ釧路店」がオープン

◆平成13年

4/5 34年ぶりに、旧釧路川の名称が「釧路川」に戻る

9/11 アメリカ同時多発テロ事件発生。

激動の時代に刻まれた長江建材の軌跡

◆平成 14 年

- 1/30 太平洋炭鉱が閉山し、釧路コールマインが発足
- 2/8 ソルトレークシティ冬季五輪開幕
- 5/31 FIFA ワールドカップ・韓国 / 日本大会開幕

12 月に伊東新市長が誕生し、釧路再生をスローガンにスタート。

◆平成 15 年

- 3/19 イラク戦争勃発、サダム・フセイン政権が崩壊
- 4/13 北海道知事選で高橋はるみが初当選
- 9/26 十勝沖地震 (M8.0) が発生、釧路町と厚岸町で震度 6 弱

◆平成 16 年

- 1/12 国内で鳥インフルエンザ発生
- 8/13 アテネ五輪開幕
- 12/26 スマトラ島沖地震発生 (M9.3)、死者・行方不明者約 30 万人

◆平成 17 年

- 1/18 釧路沖地震が発生 (M6.4)
- 3/25 愛知万博「愛・地球博」開幕
- 7/9 釧路こども遊学館がオープン
- 10/11 釧路市・阿寒町・音別町が合併し、新「釧路市」が誕生

◆平成 18 年

- 2/10 トリノ冬季五輪開幕、荒川静香が金メダル
- 3/3 第 1 回ワールド・ベースボール・クラシック (WBC) で日本が優勝
- 8/20 北大通の丸井今井釧路店、「KOM」(旧くしろデパート) が相次いで閉店
- 10/26 日本ハムが 25 年ぶりのパ・リーグ優勝、44 年ぶりに日本シリーズ制覇

◆平成 19 年

- 4/10 星園高・北高・西高の 3 校が統合され、明輝高が開校
- 7/16 新潟県中越沖地震が発生

◆平成 20 年

- 8/8 北京五輪開幕
- 10/27 総合体育館「湿原の風アリーナ釧路」がオープン

日本でも上場企業の倒産が相次ぎ、昨年 1 年間で 41 社が倒産今だかつて無い倒産件数となった。
道内大手住宅メーカーが相次いで倒産する。

◆平成 21 年

- 1/20 バラク・オバマが黒人初の米大統領に就任
- 2/11 釧路川河口付近にラッコの「クーちゃん」が現われる
- 3/23 第 2 回 WBC で日本が 2 大会連続優勝

◆平成 22 年

- 2/12 バンクーバー冬季五輪開幕
- 5/1 上海万博開幕 (～ 10 月 31 日)

約 50 年続いた自民党政権から民主党政権に変わり、コンクリートへの投資から人への投資と、予算配分の考え方を大きく変える。

◆平成 23 年

- 3/11 東日本大震災が発生

平成 14 年

「グッと住まいる夢フェア 2002」を企画開催。また、新規事業として営業企画推進部を新設し長江孝文本部長として年 6 回程度、リフォーム展示会の企画開催を行う。

14 年度新規事業として売上を 2 億円～3 億円の掘り起こしを図る。

福井コンピューターの工務店様向け営業支援システムを導入、工務店様の営業支援に力を入れる。(プレゼンテーションルーム開設)

平成 15 年

住宅ローン減税による駆け込み需要や十勝沖地震などの影響で確認申請件数も住宅着工件数も前年対比微増であった。

平成 16 年

今年度から新たに、市内の各メーカーさんのショールームなどを有効活用した、小規模リフォーム展示会を年 3 回企画開催し、リフォーム部門にも今まで以上に力を注ぎ年間を通じて工務店様の仕事づくりの支援をする。

平成 17 年

営業グループのメンバーを組み替え、営業方針の見直しなどを実施、営業に最大限の力を注いで組織力を高め、営業、業務、事務経理の連携強化を図る。

(株)ラコンテの松井氏に経営コンサルタント依頼 (経営会議同席) さまざまなご指導を頂く。

日本事務器による新コンピューターシステム導入、(営業社員全員にパソコン導入)

1 月に社員旅行で中国へ行き (瀋陽・北京・上海) などを観光した。2 班に分かれて行く。

平成 18 年

改革元年を目標に掲げ、営業体制の変革を行い、新しい営業体制でこれまで以上に内部コミュニケーションを意識し、営業力強化を進める。

請求書自動付き合わせシステムを導入し、事務処理の効率化を図った。

平成 19 年

改正建築基準法施行で 7 月以降は資材価格高騰、道内景気の不透明感、所得格差といった複合的要因に耐震偽装の再発防止を目的に厳格化された法の改正が追い打ちをかけた。

保坂常務が退職。

平成 20 年

長江 勲専務が退職、新しい体制でスタート。

2 グループ体制による、新しい営業体制で営業力強化を図る。トステムより出向社員、寺田氏の派遣によるサッシ関係の拡販をする。建築設計事務所廃止。

入江町 3 番 7 号にサッシ工場新設 職人 2 名、事務員 1 名採用

平成 21 年

2 月・3 月札幌で開催されていた各問屋さんの展示会への参加による工務店様支援を廃止。

グッと住まいる夢フェア 2009 開催による営業支援を強化。

平成 22 年

サッシ事業部開設 (拡進建材工業(株)よりサッシ事業を引き継ぐ、従業員 2 名移籍)

サッシ工場を拡進建材工業さんの工場を賃貸で借り継続、拡進建材さんの職人さん 2 名とトステムさん退社の南出さんの 3 名体制で取り組む。

今年は弊社にとって、40周年を迎える節目の年であります。3月11日に発生した東日本大震災は私達にとって想像を超える出来事でありました。弊社においても仕入材料の確保が困難となり工務店様に対して円滑な供給ができない事態が発生しました。

13回続いた春の展示会「グッと住まいる夢フェア」を中止。釧路管内の大型建築物が集中、あらゆる職種の職人さんが不足し、現場がスムーズに進まない状況が続き、職人さんを確保する為に大変な苦労をした。

(株)ラホープによる新コンピューターシステム導入。コンピューター関係の機器類総入れ替わりに、再度見直しを図り更なる効率化、集約化を進める。5ヵ年経営計画を策定し取り組みが実を結び、引き続き与信管理営業力アップ、財務改善、業務改善など更に力を入れる。

2月・3月は消費税増税前の駆け込み需要の影響で、売上を大きく伸ばし、特に3月は売上目標の倍の売上、3月としては17年前の消費税増税以来の2億円台の売上。

昨年の消費税増税は、年末まで景気の回復感が得られない一年でした。弊社に於いては、32年間の売上の中で月間売上のワースト記録を3回塗り替えるという残念な事がありました。

5ヵ年経営計画を策定し取り組み、今年度で5年目になる。24・25・26・27年と大きな負債も無く順調に推移し目標を達成して参りましたが、昨年は売上目標も粗利目標も達成することが出来ず、本業での収支は大変厳しい結果で終わった。

会長社長の役員改選、創業46年を記念して「次の未来へ。」記念誌を作製。

平成 23 年

平成 24 年

平成 25 年

平成 26 年

平成 27 年

平成 28 年

平成 29 年

釧路市でも震度4を記録
福島第一原発が爆発事故

7/17 サッカー女子ワールドカップで、日本が初優勝
7/24 テレビ放送が地デジに

◆平成 24 年

1月 幣舞橋付近にアザラシが出現、「ぬーちゃん」と呼ばれて人気者に
4/11 金正恩が北朝鮮の指導者に就任
5/22 「東京スカイツリー」が開業
7/27 ロンドン五輪開幕

◆平成 25 年

2/25 朴槿恵が韓国の大統領に

国が公共事業関係費、前年度の補正予算と今年度の予算と合わせると10兆円規模の予算を組んだ。
釧路市の公共工事も予想以上に多くの発注を予定。
アベノミクスで1年が始まり、東京オリンピックの開催、消費税増税が決まるという1年でもありました。

◆平成 26 年

2/7 ソチ冬季五輪開催
2/9 東京都知事選で舛添要一氏が当選
4/1 消費税が8%へ引き上げられる
4/16 韓国で「セウォル号」が沈没

◆平成 27 年

1月 イスラム国(IS)により日本人2名が拉致・殺害される
7月 ラグビーW杯で、日本が強豪チームを破るなど大活躍する

◆平成 28 年

1月 台湾の総統選挙で初の女性・蔡英文氏が当選する
フランスやベルギー、トルコなどでテロが頻発

日銀のマイナス金利導入決定を受けて、金融機関の一部は預金や投資信託の募集を停止し、預金金利を引き下げる動きが相次ぐ。同時に大幅な株安、円高と投資家や輸出企業、金持ちなどにはマイナスの影響を及ぼす。

外装工事

(サイディング工事・塗り壁工事・乾式タイル工事・石工事・他各種工事)



内装工事

(軽量工事・下地工事・クロス工事・床工事・大工工事・カーテン工事・他各種工事)



エクステリア・外構工事

(物置工事・ガレージ工事・カーポート工事・フェンス工事・他各種工事)



《取扱商材・営業内容》

●住宅設備機器

システムキッチン / IH クッキングヒーター / ガステーブル / 洗面化粧台 / ユニットバス / システムバス / 浴槽
便器 / 温水洗浄便座 / ボイラー / 換気扇 / 床下収納庫 / 家電製品 / エアコン / 水栓金具 / 電気温水器 / 蓄電暖房機
オール電化システム / エコキュート / ストーブ / ソーラーシステム / 換気システム / 証明器具 その他

●内装材

天井材 / 内壁材 / 床材 / フロアー / キッチンパネル / 造作材 / 内装ドア / 内装引戸 / クローゼット / 階段材
階段手摺 / 玄関収納 / 銘木 その他

●エクステリア

カーポート / ガレージ / 物置 / バルコニー / テラス / 門扉 / フロント / 玄関ドア / サッシ / フェンス / ポスト
ウッドデッキ / ゴムチップパネル その他

●建築構造材・下地材・補助材

コンパネ / ラワン合板 / ラワン構造用合板 / 造作用集成材 / 針葉樹合板 / 針葉樹構造用合板 / ネダレス合板
OSB 合板 / CSP 合板 / シナ合板 / シナランバーコア / 化粧合板 / 銘木合板 / 木材 / 製材 / 石膏ボード その他

●建築資材・建築金物・鋼材

Z 建築金物各種 / 構造金物 / 釘類各種 / ビス類各種 / 軽天材 / LGS 材 / 鉄筋 / 鉄骨 / 天井見切 / 建築シート各種
建築フィルム各種 / レジスター各種 / フード各種 / 床下点検口 / 天井点検口 / 換気口各種 その他

●各種工事

サイディング工事 / 外壁塗り壁工事 / クロス工事 / 床工事 / 大工工事 / 軽量工事 / 下地工事 /
カーテンレール工事 / カーテン工事 / カーポート工事 / ガレージ工事 / 物置工事 / フェンス工事 / 外構工事
設備工事 / サッシ関係工事 / 風除室工事 その他

●外壁材・屋根

サイディング / タイル / 塗り壁材 / ストレート / 角波 / 波板 その他

●建築基礎材・外構

石 / コンクリート製品 / セメント / 生コン / ブロック / インターロッキング / U 字溝 / 溜枳 / エスロン管

●その他

サプリメント / 化粧品

事業部紹介

サッシ事業部



平成18年頃、得意先様の倒産や廃業も重なり、売上が徐々に減っていく中、長江建材（株）の新たな売上基盤になりうる事業はないかと模索していたところ、旧トステム株式会社（現株式会社LIXIL）様より「サッシをやってみないか？」と話を頂きました。またサッシの販売にあたり、アドバイザーとして事業部が軌道に乗るまでの間、サポート社員として当社に1名が出向をして頂けることとなり、平成19年6月に本格的にサッシ事業部を立ち上げました。当時は職人を外注にて工事等をしておりましたが、平成21年5月、取引先でありました拡張建材工業様のサッシ部の廃業に伴い、新たに社員2名と工場を引き継ぎました。平成25年6月に当社の向いに工場を新設し、入江サッシ工場としてサッシや網戸、風除室工事などを受注、施工し現在に至っております。

●所在地

〒085-0008 釧路市入江町3番17号

Tel：0154-24-4141（代） Fax：0154-22-9391

事業部紹介

不動産事業部



山の猿（芦野ビル）



グリーンハイツ（米町）



すき屋（鳥取）

平成9年に得意先様のご紹介によりソピア鶴ヶ岱を取得、不動産事業部が始まりました。平成13年に「米町グリーンハイツ」、平成17年に競売にて「山の猿」の芦野ビル、平成18年に鳥取に「すき家」の建物を建築し、その他、貸駐車場など家賃収入を主とした事業部として現在に至っております。

- ソピア鶴ヶ岱 釧路市鶴ヶ岱1丁目
- 米町グリーンハイツ 釧路市米町3丁目
- 山の猿 芦野ビル 釧路市芦野5丁目
- すき家 釧路市鳥取大通3丁目
- その他 貸駐車場等

事業部紹介

NAGAE きらら事業部



釧路で製造された鮭鼻軟骨由来の話題の機能性成分「プロテオグリカン」と、軟骨の主成分で生体内そのままの構造を維持している「非変性Ⅱ型コラーゲン」を配合したサプリメントと化粧品を企画製造販売しています。

平成 21 年に釧路市から「ふるさと雇用再生特別対策推進事業補助金プロテオグリカン新製品創出事業」に採択され、試作を重ね、性質や機能性、取り扱い方法などの情報を蓄積し、また、釧路市民の皆様にモニターの協力をいただき、貴重なご意見、ご感想をお聞きすることができ、その後の販促活動や情報発信において何よりの財産となりました。

すべての商品名は知的財産として商標登録をしています。容器やパッケージ、販促物の表示、広告は、地元釧路の広告代理店にご協力いただき、法令や規制を考慮しながら制作しています。

お客様の声を直接お聞きできるように通信販売を主にしています。商品のお届けの際は、破損や傷がつかないように梱包し即日発送を心がけています。

原料・製造・包装・表示・広告・流通・販売・個人情報保護の過程に関係する各種法令を遵守し、理解を深め、お客様の健やかな健康と美容を第一に安心・安全な商品をお届けするよう努めてまいります。

●所在地

〒085-0008 釧路市入江町 3 番 17 号

フリーダイヤル：0120-254-383

一般：0154-24-4143 FAX0154-64-1155

●URL <http://www.pg-kenko.jp/>

プロテオグリカン
&
非変性Ⅱ型コラーゲン

商品紹介

北海道産の鮭の軟骨から抽出したプロテオグリカンや
非変性Ⅱ型コラーゲンを使用した製品です。

プロテオグリカン含有食品

「夢楽寿」むらくじゅ (60粒入)

元気で長生き健康長寿。
プロテオグリカンのサプリメント「夢楽寿」
が細胞を活性。免疫力・再生力を高め、
若さと健康を保ちます。



- ◆ぐっすり眠れる
- ◆朝から元気
- ◆疲れが残らない
- ◆抜け毛が減った
- ◆肌、髪ツヤがいい



非変性Ⅱ型コラーゲン含有食品

「海 煌」かいおう (60粒入)

健康は「足」から。
関節の痛み・違和感を感じたら、
非変性Ⅱ型コラーゲンのサプリメント
「海煌」で早めのケア!



- ◆実感が違う
- ◆起き上がる
- ◆階段上り下り
- ◆しゃがむ、立つ
- ◆歩く、走る、漕ぐ



夢きらら化粧水 (100ml)

夢きらら乳液 (80ml)

優れた保水力と再生力をもつ
プロテオグリカンを贅沢に配合。
夢きらら化粧水&乳液でふっくら、
しっとり、柔らか素肌に!



- ◆小ジワが目立たない
- ◆透明感がある
- ◆弾力感がある
- ◆キメが整う
- ◆保湿が持続する

夢きららハンドクリーム (30g)

手肌のカサカサ、ガサガサをしっとり
なめらか柔らかに整えます。
べたつかず、持続する保湿は
働くその手を乾燥や水から守ります。



- ◆かさつきが治まる
- ◆手肌が柔らかい
- ◆しっかりなじむ
- ◆べたべたしない
- ◆濡れても保湿が持続

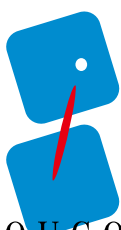
プロテオグリカンは古くから研究されていましたが、抽出技術が難しく価格は1グラム3000万円以上ととても高額でした。
しかし、サケの鼻軟骨からの抽出技術が見出され、サケの宝庫である北海道、その釧路で高品質のプロテオグリカンを低コストで大量に抽出できる技術が開発され、「第4回ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞」を受賞しました。 釧路のプロテオグリカンは、国が認めた特別な抽出技術から生まれたもののなのです。

関連会社

総合設備株式会社



会社概要



S O U G O U

総合設備株式会社

●所在地

〒085-0008 釧路市入江町7番27号

Tel : 0154-25-3116 (代)

Fax : 0154-25-3826

●会社設立 昭和36年2月

●資本金 3,700万円

●平成28年度売上高 717,604,000円

●役員社員数 21名

経営指針

- ・ 経営環境の変化に積極的に対応し、お客様と共に発展する。
- ・ 技術力を高め地域社会の健全な発展に貢献する。
- ・ 働き甲斐のある職場を作り、社員の生活を豊かにする。

社訓

- 一、きまりを守り、教養を高め、お客様の立場で考え良い会社を作りましょう。
- 一、元気であいさつ、互いに助け合い、明るく楽しい仕事をしましょう。
- 一、心を豊かに、夢を育て協力し住みよい街を作る仕事をしましょう。
- 一、健康でよく働き、ありがとうの心で、明るくあたたかい職場を作りましょう。
- 一、お客様に感動を、家庭に豊かな夢をそんな未来を目指しましょう。

ごあいさつ

創立 46 周年誠にありがとうございます。

長江建材株式会社様におかれましては、創業者 長江文男相談役がこの地、釧路に根を張り、業界の発展に貢献し、地域を支え続けて早 46 年を迎える事に衷心よりお喜びと感謝を申し上げます

私と長江相談役の出会いには昭和 59 年 3 月でした。私は前年 12 月まで天野工業株式会社に所属し、釧路市美原団地道営住宅新築設備工事で、天野・山西水道 JV として現場監督をしていましたが、外注工事で屋外給排水工事を山西水道株式会社に施工をお願いしてありました。そのころ山西水道株式会社は経営不振に陥り、長江建材株式会社の長江文男社長が再建を引き受け、社名を今の総合設備株式会社に変更したばかりでした。

その後、天野工業株式会社も経営不振に陥り残務処理をしていたところ、現場の縁もあって総合設備株式会社で現場代理人を探しているから面接に来たらと声がかかり、会う事になりました。当時、私は他社からも声が掛かっていましたが、長江文男社長の素直な経営内容の説明や他人の私に会社の再建を頼むとの声をいただき、どうせ苦勞するなら一からと思い入社してお世話になる事になりました。

その後、長江文男社長と苦樂を共にし、平成 10 年度に給排水部門でもある総合技建工業株式会社と事業統合しました。また、同年決算において総合設備株式会社の負債を返済することができました。

総合設備株式会社におきましては、地域の皆様の生活に欠かせない釧路管内の公共施設、民間施設の給排

水設備や冷暖房設備の工事を数多く手掛け、技術力とサービスの向上を第一に地域のオンリーワンを目指し、2002 年に品質マネジメント国際規格 ISO9001:2008 の認証、2010 年に北海道環境マネジメントシステム HES:step1 の認証を取得しております。さらにリスク産業でもある建設業界において労働災害事故ゼロを目指して、安全教育にも力を入れております。

異なる業種ではありますが、総合設備株式会社はこれからも役員も新体制になりました長江建材株式会社と共に協力し合い、常に 10 年先を見据え、知恵を出し合いながら地域にとってなくてはならない企業でありたいと思っております。

代表取締役 亀岡 孝



●役員

代表取締役	亀岡 孝
専務取締役	
(水道土木グループ統括)	岩田 政博
常務取締役	
(建設設備グループ統括)	松並 克明
取締役サービス工事部長	伊藤 賢治
執行役員企画管理部長	
(工事・営業)	鳥谷部 聡
取締役相談役	長江 文男
取締役	長江 勉
取締役	長江 孝文
監査役	長江 章子

建設業許可

特定建設業 北海道知事許可 (特-26) 釧第 00487 号
・管工事業、水道施設工事業
一般建設業 北海道知事許可 (般-26) 釧第 00487 号
・土木工事業、どび・土工工事業、
建築工事業、消防施設工事業

事業内容

空気調和設備設計施工
水道施設施工
一般土木施工 (ガーデニング共)
建築施工 (リフォーム工事共)

主な資格・技術者数

1 級管工事施工管理技士 9 名
1 級土木施工管理技士 4 名
2 級土木施工管理技士 4 名
2 級建設施工管理技士 6 名
指定監理技術者 9 名
給水装置工事主任技術者 6 名
北海道排水設備工事責任技術者 11 名
消防設備士 3 名
2 級建設業経理事務士 3 名
3 級建設業経理事務士 1 名
2 級配管技能士 1 名
一般継手配管技能者 5 名
耐震継手配管技能者 5 名
大口径配管技能者 1 名
J D P A 継手 (大口径) 4 名
水道配管用ポリエチレン配管施工技能者 9 名
ガス消費機器設置工事監督者 4 名
浄化槽設備士 1 名
酸素欠乏危険作業主任者 8 名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 4 名
ガス溶接技能者 3 名
2 級ボイラー技士 1 名
ボイラー据付工事作業主任者 1 名
危険物取扱者 1 名
L P ガス設備士 1 名
建築設備診断技術者 1 名
日本水道協会配管設計技能者 3 名
石綿作業主任者 5 名
石綿取扱作業従事特別教育 9 名

○ISO9001:2008 品質方針

当社は常により良い品質をお客様に提供できるよう、施工技術・品質管理技術の向上に努め、管工事業を通じて地域社会に貢献できる企業を目指します。

○HES : Step 1

環境に関する基本方針

事業運営と地球環境の保全両立し、住み良い北海道の地域社会を実現するために、全組織を挙げて環境改善活動に取組みます。

近年主な管設備・ 水道施設工事経歴



平成26年 (仮称) 子育て支援複合施設建設工事 (機械設備) (釧路町) J V



平成24年 釧路市立釧路小学校管設備工事 (その2) (釧路市) J V



平成20年 釧路根室圏総合体育館機械設備工事

平成 28 年度

北海道釧路保健所改修衛生設備工事（北海道）ＪＶ
興津団地ＯＫ２長寿命化型改善工事（給排水管等）（釧路市）
興津団地ＯＫ３長寿命化型改善工事（給排水管）（釧路市）
別保小学校（校舎）耐震改修工事（機械設備）（釧路町）
鶴居Ｄ団地地域優良賃貸住宅機械設備工事（鶴居村）
第３回拡張事業愛国浄水場構内連絡管布設工事（釧路市公営企業管理者）ＪＶ
配水管整備事業喜多白金準幹線配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）ＪＶ

平成 27 年度

北海道標葉高等学校大規模改造第２期暖房設備工事（北海道教育委員会）ＪＶ
釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業（第２期）鳥取小学校管設備工事（釧路市）ＪＶ
釧路市立学校施設耐震化 PFI 事業（第２期）山花小中学校管設備工事（釧路市）ＪＶ
武佐団地 R14 長寿命化型改善工事（給水管）その１（釧路市）
清水沢町営住宅改善工事（機械電気設備）（釧路町）
配水管整備事業ぬさまい３線他配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
配水管整備事業星が浦北１線１配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
中茶安別中学校（講堂）防音事業改築附帯機械設備工事（標茶町）



平成28年 配水管整備事業喜多白金準幹線配水管布設工事

平成 26 年度

釧路市道営住宅改善衛生設備工事（住之江団地 DH6 棟）（北海道）ＪＶ
音別行政センター新庁舎管設備工事（釧路市）
釧路市立鳥取中学校屋内運動場改築管設備工事（釧路市）
（仮称）子育て支援複合施設建設工事（機械設備）（釧路町）ＪＶ
配水管整備事業昭和西１７号１他配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
第３回拡張事業愛国浄水場構内連絡管布設工事（釧路市公営企業管理者）ＪＶ
東和食品株式会社様第２焼成工場建設工事（タカオ工業㈱）
㈱日洋フレッシュ増改築工事及び工業用水切替工事（㈱プロシスタス）

平成 25 年度

（仮称）釧根圏高等支援学校校舎等改修衛生設備工事（北海道教育委員会）ＪＶ
釧路市立学校耐震化 PFI 事業（第１期）鳥取中学校管設備工事（釧路市）ＪＶ
フィッシャーマンズワープ避難施設整備管設備工事（釧路市）ＪＶ
平成 24 年度白樺台団地 D 棟公営住宅管設備工事（釧路市）ＪＶ
配水管整備事業鶴野東縦幹線配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
配水管整備事業鳥取北 7 線 3 配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
鶴居 A 団地公営住宅機械設備工事（鶴居村）
㈱近海食品益浦工場新築工事 配管工事（池田煖房工業㈱）



平成23年 配水管整備事業 緑ヶ岡中央幹線配水管布設工事

平成 24 年度

釧路港湾合同庁舎改修 1 2 機械設備その他工事（北海道開発局）
釧路市道営住宅改善衛生設備工事（愛国団地 D 9 号棟 1）（北海道）ＪＶ
釧路市立中央小学校第 2 期管設備工事（その 1）（釧路市）ＪＶ
釧路市立釧路小学校管設備工事（その 2）（釧路市）ＪＶ
配水管整備事業緑ヶ岡中央幹線配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
国道 3 9 1 号水道管移設工事（その 2）（釧路町）
（仮称）くしろ夕日カフェ改修建築工事（企業組合ウェルフェアグループ）
大地みらい信用金庫釧路東支店新築工事（マル勢影本工業㈱）

平成 23 年度

職員宿舎（春採 1 丁目 3）給水改修 H 2 3 機械その他工事（釧路開発建設部）
釧路市道営住宅改善衛生設備工事（愛国団地 D 1 0 号棟 1）（北海道）
配水管整備事業緑ヶ岡中央幹線配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
配水管整備事業貝塚南 1 線配水管布設工事（釧路市公営企業管理者）
地域密着型小規模特別養護老人ホームふくろうの郷新築機械設備工事（タカオ工業㈱）
太陽生命釧路ビル H23 年度修繕計画（建築）外壁設備改修工事㈱大林組



平成21年 配水管整備事業三共通配水管布設工事

関 連 会 社

株式会社 栄材



会社概要

事業内容

- 上下水道資材
- 管資材
- 衛生陶器資材
- 冷暖房機器
- 機械 工具



EIZAI Co., Ltd.

株式会社 栄材

●所在地

〒080-0012 帯広市西2条南26丁目12番地1
Tel : 0155-20-3375 (代)
Fax : 0155-25-3826

●会社設立 平成12年7月

●資本金 400万円

●平成28年度売上高 383,225,000円

●役員社員数 9名

経営理念

- 経営環境の変化に積極的に対応し、お客様と共に発展する。
- 企業力を高め地域社会の健全な発展に貢献する。
- 働き甲斐のある職場を作り社員の生活を豊かにする。

社訓

1. きまりを守り、教養を高め、お客様の立場で考え、良い会社をつくりましょう。
2. 元気であいさつ、お互いに助け合い、明るく楽しく仕事をしましょう。
3. 心を豊かに、夢を育て協力し住みよい美しい街をつくる仕事をしましょう。
4. 健康でよく働き、ありがとうの心で、明るくあたたかい職場をつくりましょう。
5. お客様に感動を、家庭に豊かな夢を、そんな未来を目指しましょう。

ごあいさつ

当社は平成12年7月設立今年で創業17年となりました。

創業から8年、創業者が病で倒れたことがきっかけで、平成20年9月からご縁があり、現長江文男会長が有限会社栄材を引き受けることとなりました。

当時は社員も不安がたくさんあったと思いますが、一致団結し頑張ってきた結果今に至っております。

その後平成26年9月、長江文男会長からお声をかけていただき、全く畑違いの前職自動車販売業である私に務まるか不安ではありましたが、決意新たに栄材でお世話になることを決めました。

それから約3年間、専務を経て、今期から社長就任となりました。

平成28年6月、株式会社NISHIKI WORKSを設立、栄材の商材であるメーターボックスを作成しており、十勝にはなくてはならない商材を目指しております。

今年29年3月には元帯広住設の店舗を購入し、念願の自社社屋となりました。効率も上がり社員皆快適に仕事がしやすく、より一層やりがいも出てきていると思います。今期から社長という重責の立場ではありますが、前社長の精神を受け継ぎ、失敗を恐れずに邁進していきたいと思っておりますので、より一層のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



●役員

代表取締役会長 長江 文男

代表取締役社長 松本 真樹

取締役 長江 勉

取締役 長江 孝文

取締役 戸草 弘

取締役 小川 博史

監査役 松本 美佳



関連会社

株式会社 夢の杜



会社概要

●所在地

〒085-0008 北海道釧路市入江町12番地19号
Tel : 0154-24-4141 (長江建材内)

●会社設立 平成 27 年 6 月 1 日

●資本金 2,000 万円

●役員

代表取締役 長江 文男

取締役 長江 勉

取締役 亀岡 孝

監査役 長江 孝文

事業計画

事業計画地。阿寒町、北海道横断自動車道阿寒インターチェンジから3分、たんちょう釧路空港から15分、温泉掘削し、温度は28℃、湧出量毎分302mで良質の温泉を利用した施設を考えている。



事業内容

1. 高齢者移住村構想
2. 住宅型有料老人ホーム
3. 特別養護老人ホーム
4. 介護付有料老人ホーム
5. 温泉熱利用の植物工場

関連会社



株式会社 NISHIKI WORKS



会社概要

●所在地

〒089-0563

中川郡幕別町字千住397番地79 札内東工業団地

Tel : 0155-56-5670

Fax : 0155-56-5690

●会社設立 平成 28 年 6 月

●資本金 500 万円

●平成 28 年度売上高 20,000,000 円

●役員、従業員数 4 名

●役員

代表取締役会長 長江 文男

代表取締役社長 松本 真樹

取締役 松本 美佳



事業内容

FRP 製造、販売

水道用メーターボックス

水道仕切弁弁筐下部架台

浄化槽ブローボックス

パークゴルフスタート台



長江文男

私の人生、 波乱万丈の足跡



私は昭和15年3月2日、北海道広尾郡大樹村（現在の大樹町）で生まれました。戸籍では、2歳9ヶ月になった昭和17年12月9日に、大樹村から標茶村上久著呂に両親と妹・弘子と入植で移住したことになります。その土地はかなりの山奥で、獣道しかないような場所でした。

着いた土地にあった住居は平屋の草葺きで、20坪ぐらいの家だったような気がします、建物は古くて、玄関を開けると土間と炊事場、一段高くなって居間、そこには囲炉裏がありましたね。床はムシロを敷いていました。寝床は中二階のムシロ敷きで、冬などは布団の襟が吐く息で凍りました。屋根の上は古くなって、草が生えていました。天井板のない屋根裏は真っ黒にスス焼けし、コウモリが飛んでいましたね。

中学校の1、2年生頃でしたか、父親が大工でもないのに自力で木造の住宅を建ててしまい、「すごい」と驚きました。家の灯りも最初はカンテラでしたが、やがてランプになり、カーバイトを経て、中学校を卒業後によく電気になりました。

終戦の前後はひどい食糧難で、配給品のでん粉の粕とか、大豆の油を絞った粕などを食べていましたが、それはそれは、不味いなんてもんじゃありませんでした。

最初に入學した小学校は、1年生から6年生まで全校でも20人前後の生徒しかおらず、教室も一つきり。先生も一人だけで全校生徒を教え、校長先生も兼務していました。担任の先生は今井先生といい、教科書はカタカナで、「花咲か爺さん」とか「浦島太郎」「桃太郎」など、昔ばなしのような教科書で、字が読める喜びを感じましたが、今井先生は6ヶ月ほどで退任してしまい、新しい先生に替わりました。教科書もカタカナからひらがなに変わりましたが、新しい先生は職員室から勉強時間や休み時間の開始を告げに来るだけの人で、すっかり勉強への関心を失ってしまった私は、小学校を卒業するまで自ら教科書を開くことはなくなりました。

中学校へと進学する年に、中学が初めて義務教育となり、高卒の代用先生だった今野先生という人に教わるようになりました。今野先生には1年半ほど教わりましたが、一所懸命に教え



てくださったことを、今でも忘れません。その後、中学卒業まで勉強した記憶はほとんど残っていません。小・中9年間で、実質2年間ぐらしか勉強をしていなかったのではないのでしょうか。その恩師・今野先生には、釧路管内の学校の校長先生を最後に退任された後、総合設備の常務取締役としてお迎えし、管内の役所回りを5年間ほど担当して頂きました。私が心から尊敬し、忘れることのできない大恩人でしたので、無理を言ってお手伝いをお願いしたのです。

21世紀になった現在ですら、標茶などの郡部で子供を産もうとすると、産婦人科医がいなくて大変だと言われているようですが、昔はこれらの辺地においては、産婦人科医どころか産婆さんすらおらず、私の妹や弟が生まれた時にも、祖母が赤ん坊を取り上げていました。私は6人兄妹でしたから、たぶん弟・妹たちはみな祖母の世話になったと思います。すごいことですよね。

中学を卒業後は当然、親の仕事を手伝うことになりました。畑仕事や炭焼き、林業など、振り返ってみますと親は畑、私は山の仕事が多かったように思います。その頃、家では馬や牛、羊、豚、鶏などを飼い、貴重なタンパク源にしていました。さらにペットとして犬や猫なども飼っていましたので、まるで小動物園のようだったと思います。



私は「こんな田舎で一生を過ごしたくない」と思い、両親を説得して、20歳になる昭和34年の1月29日に釧路市に移り住みました。両

親との約束は、まだ幼かった妹と弟（現在の勉会長）と一緒に連れて行くことで、納得してもらいました。

釧路で就いた最初の仕事は、翌2月から春までは石炭販売店の車に石炭を積み込むというものでした。さ

らに春からは父親に言われ、市場から仕入れたいろいろな商品を、リヤカーで売り歩きました。



しかし、これは冬場になると続けられません。そこで、十条製紙の下請けだった「富士興業」さんに勤務することになり、父も1年

ぐらい後に釧路へと出てきました。

父は昭和36年から、コンクリート束石や便槽の製造販売を手掛けていました。私も翌37年から父の仕事を手伝い、またしてもリヤカーで束石や便槽を配送しました。ところが昭和38年の秋に、急に父親が亡くなってしまったことから、まだ23歳の私の一人歩きが始まりました。

当時のお客様は全部で28社ほど。もちろん、父親の遺した仕事を続けることにしました。

昭和45年まで、コンクリート製品の製造販売を続けてきましたが、世の中の大きな変化と流れを強く感じていました。当時を思い起こすと、下水道管は素焼き土管からエスロン管へ、また住宅の外煙突も、素焼き土管から鋼管へと変わって行く様子を目の当たりにし、コンクリート製品も同様に変わって行くのではないかと思いました。案の定、やがて束石や便槽は、基礎コンクリートに変わって行くこととなります。

そこで、昭和45年5月12日から「コンクリート製品が駄目なら、それに代わる商品を売ろう」と考えたのが、長江建材店の始まりでした。

長江建材を設立

昭和46年2月1日に、現在の長江建材店を設立しました。まだコンクリート製品の製造販売を主に行っていた昭和38年の顧客数はわずか28社でしたが、新たに会社を設立した時には、

145 社になっていました。設立当時は、扱う建材の名前も何も分からない、仕入先や業界のことすら「何も分からない」ことずくめの出発でした。

経営指針の中で、まず一番最初に手掛けたことは「先手必勝」ということでした。私は素人、プロに勝つにはどうしたら良いかを追い求めたのです。そこで考えたのが、プロの扱っていない新商品の発掘でした。ほどなく、新しい建築資材を次から次へとヒットさせることに成功しました。すると、問屋も新商品を見つけると、「これ売れますか?」と言って、当社へ商品を持って来るようになりました。

当時、まだ浴槽はタイル風呂、風呂釜は石炭風呂釜というのが主流でしたが、そのころ「淀川製鋼」の鉄板ホーロー浴槽と、「サンポット」の石油風呂釜という新商品を見つけ、これをセット販売しようと考えて取り組みました。サンポットの風呂釜がトレーラー 1 台で 800 個積めることが分かったので、同じく浴槽も 800 個を仕入れることにして、浴槽と風呂釜をセットで販売することと、取り付けサービスを行うことを提案すると、わずか 1 年で 800 セットを完売することができました。当時でもこの数量はすごいことで、会社を設立してわずか 2 年目での快挙でした。

平成 28 年度の釧路市の住宅確認申請数、つまり建築数は 581 件なのですから、800 個という数がとてつもない量ということが分かります。当時の星ヶ浦の土場は、商品の山になったものです。なにせ量が量ですから、浴槽も風呂釜も破格の値段で仕入れることができました。この数量には、プロも太刀打ちできないものでした。

昭和 48 年のオイルショックは丸 1 年ほど続いたため、商品は当時の仕入れ単価の 50 ～ 70% 引きで販売しましたが、それでも儲かりました。早くからオイルショックの兆しを感じたことから大量に商品を買占めたため、同業者は在庫が無くなって困っていましたが、当社売って売って売りまくりました。

当時、在庫ができなかったのが丸棒（鉄筋）セメントでした。「今井金商」さんが廃品として山積みになっていた古い丸棒を買い、会社で大きなハンマーで叩いて伸ばして売ったのですが、

すぐにそれも無くなったため、工事現場に出向いては帳場さんに頼み込み、領収書なしの闇買いのお願いをして、夜中にこっそりと搬送しました。

セメントなど、左官屋さんを相手に商売をしている所もセメントを用立てできなくなり、当社が「領収書なしの現金買取り」という情報を発信したところ、一ヶ月後くらいから毎朝大型トラックで 3 台前後の入荷ができるようになり、売りまくりました。当時の金額で、3 千万円ほどの領収書なしの闇の仕入をしていたと思います。

この時のオイルショックは、当社にとって信用と奉仕の精神を発揮する絶好のチャンスとなりました。新商品の中でも、特に印象深かったのは内装用のドアです。当時は建具屋さんが製作販売していたのですが、これを「工場で量産ができるようになったのですが、いかがでしょう」と、業者が見本を持って来ました。これはいけると思い、一度に 500 本の注文をし、2 ヶ月ほどで完売してしまうという大ヒットになりました。このように、数々の新商品をヒットさせることができたのも、当時から釧路大工組合さんと深いつながりを持つことができたためでした。

当時の大工組合員の社長が、常時 5 ～ 6 人が当社事務所にたむろしていましたから、そこで営業活動ができました。新社屋に移ってからは、なかなかお客さんが寄り付かなくなったため、昭和 52 年から営業活動を始めることとなりました。

昔の住宅では、床下に室（むろ）を設ける家が多くありました。コンクリートの便槽を床下に入れ、床面に出入り口を取り付けて、大工さんが出入り口の蓋を作っていたものです。これを見て、アルミの蓋を作れば良いと考え、メーカーにアルミの蓋枠を提案しました。一個 20 ～ 30 円のアイデア料だったと思いますが、全国ですごく売れたため、わずか 1 年で 8 百数十万円のアイデア料を頂きました。

社の経営指針である「信用と奉仕」や「蒔かぬ種は生えぬ」を実行するため、大工組合さんの訓練校に電動工具一式を贈呈したほか、訓練校の運動会の景品や、その他の行事で提供する景品も当社が大工道具で引き受け、贈呈しまし

た。

訓練校の卒業式では毎年、卒業生に東源氏の
鎧を一人に一丁（2万数千円）ずつ、多い時には
30～40名の生徒に贈ったほか、大工組合には
金銭の寄付も続けていました。当時の「釧路
大工組合」は、全道にはもちろん、全国にも名
を轟かすほどの組織力を持っていましたし、今
でも偉大な組合長として知られる故田中良一氏
がいました。田中氏は大工組合の全国組織であ
る「全建連」の理事まで登りつめた人でした。

当社の創立20周年を記念して、「大工の神様」
である聖徳太子を祀った、米町の本行寺にある
「釧路聖徳太子堂」の改修工事も寄贈しました。
釧路大工組合の行事において、民間人で招待者
されたのは私一人だけでした。

創業から15年間ほどは、結婚式に招待される
機会が多くありました。多い年には年に50～
60組ほどもあり、中には1日で5組ということ
もありました。たびたび来賓の挨拶を求められ
るなど、大変な時代でしたが、現在のような少
子高齢化など、想像もできない時代でした。

この当時の私は、お盆と正月しか休みません
でしたし、会社から帰宅できるのは夜の10時頃
という生活が普通でした。ほかの社員たちも皆、
9時頃まで残業をしていました。今では残業な
どの「長時間労働」による労働者の過労死や自
殺が、大きな社会問題となっていますが、この
当時にはありませんでした。なぜか昔の人たち
は、もっと身体を使いながらも、仕事にスピー
ド感があつたように思います。

人生を振り返って

私は妻や子供などと過ごす時間も作れなかつ
たため、妻に負担をかけ、子供たちにも寂しい
思いをさせてしまった人生でしたが、社員とそ
のご家族、多くの関係者さんとそのご家族のた
めに頑張ることが、自分に与えられた運命だと
思い、これまで頑張ってきました。

また、それらを乗り切ってこそ、その苦境こ
そが私をより大きく成長させ、またその苦境こ
そが私の人生にとってのチャンスだと思ってい
ました。

失敗こそ成功の母

失敗なくして成功なし

失敗こそ成長

こんな言葉がありますが、私の人生にも多く
の失敗がありました。しかし、その失敗を「肥
やし」にして、人生は変えていくものだと感じ
ています。

よく「大変、大変」と騒ぐ事がありますが、
大変という字を離して書くと、「大きく変われ」
となります。

変わればいいんです。

その時の出逢いが

その人の人生を、根底から

変えることがある。

良き出逢いを、

こういう言葉もあります。

人生って本当に出逢いですよね。

私も多くの人々や社員との良き出逢いがあつ
てこそ、今があると感謝しています。

中でも政治家さんとの出逢いは、当社の成長
期には大きな足跡を残しました。

振り帰って見ますと、過去には良くない出逢
いもありました。

金額の大小はありますが、会社の金を使い込
んだ社員も4名いました。

定年まで私に逆らい続けた社員もいましたし、
人間社会は本当に難しいものです。

倒産した「山西水道工務店」の再建を引き受け、
「総合設備 株式会社」と社名を変えて軌道に乗
せるまでには、15年という長い歳月がかかりま
した。

当時、経理担当の岩沢常務に経理上の分析を
してもらい、それらをいかに采配を振るうかが
私の仕事でした。

また、現在の亀岡孝社長との出逢いも大きな
力になりました。もし亀岡さんとの出逢いがな
ければ、社の再建は無理だったかもしれません。

亀岡社長との出会いをはじめ、多くの社員に恵まれてきたからこそであり、企業はやはり人ありきです。

社員の皆さんには感謝しております。

会長となってから

私が会長となって手掛けた最初の仕事は、賃貸料収入 5,000 万円を目標に、銀行に融資をお願いして競売物件など買いあさり、初年度で 5,300 万円の収入を挙げたことでした。この新しい事業は、会社の収益に大きな貢献をすることになりました。

平成 18 年には「バイオマテックジャパン(株)」の新素材・プロテオグリカンの魅力にひかれ、製造販売のスポンサーとなりました。会社のさらなる収益アップへの期待と、社員の雇用を考えて工場を建設しましたが、思ったほど販売は思わしくなく、長江建材としてサプリメントの「夢楽寿」「海煌」、化粧水と乳液の「夢きらら」開発に取り組み、国の補助金を受けて開発を行いました。

しかし、平成 25 年に起こった工場の爆発火災事故によりスポンサーを降り、当社を含めた出資者からの債権は火災保険で整理しました。その後「バイオマテックジャパン(株)」は九州の藤原様がスポンサーとなり、今では製造が注文に追いつかない状況になっているそうです。当社としては、サプリメント事業部を今後どう大きく開花させるかが、大きな課題です。

■平成 20 年 9 月 「株式会社 栄材」を設立

帯広にありました資本金 400 万円の管材会社を 2,400 万円で買い取り、長江建材の子会社にしました。その会社は社長さんが脳梗塞で倒れ、経営者不在となったために売却の話があったものでした。会社の業績も条件も悪くはない上、売上も 2 億 8 千万円ほどあり、社員も経理担当の関谷さんを始め、営業マンも良いスタッフが揃っていたため、私の力で何とかなるものなら、これも運命の出会いと思い、買い取ることにしました。

それから 8 年あまり経過しましたが、2 年前から娘婿の松本真樹に管理を任せました。29 年

度からは、松本真樹を社長に新しい出発となります。

平成 28 年には、それまで有限会社だったものを、株式会社として組織替えをしました。社屋もそれまでの借家住まいから、縁あって良い中古物件があり、土地 1071.56㎡ (324.7 坪) と建物 349.92㎡ (106 坪) を合わせて 2,950 万円で購入しました。立地条件も良く、値段も手頃な社屋のため、働く環境も良くなると思います。

今期は売上も 3 億 8300 万円に達成しました。環境もさらに整い、素晴らしい社員のもと、会社もさらなる発展を続けることと思います。

■平成 27 年 6 月 「株式会社 夢の杜」を設立

この会社は、長江建材と総合設備の合同出資会社として設立しました。会社の事業目的は、阿寒町における「夢の杜 高齢者村構想」です。

温泉掘削のボーリングも終わり、温泉の温度こそ低い (28℃) もの、毎分 302㎡の湧出量がある、とても良質な温泉であることから、この場所で元気に暮らすことのできる「高齢者村」を作れないものかと検討を進めているところです。

計画構想は「高齢者移住村」「住宅型有料老人ホーム」「特別養護老人ホーム」など。また、それらに伴う施設として、イベントホールや託児所、診療所なども建て、300 人～500 人が暮らす、元気な高齢者村にしたいと考えています。

この施設の利点は、車で「たんちょう釧路空港」まで 15 分、北海道横断自動車道の「阿寒インターチェンジ」まで 3 分という位置にあることです。この優れた立地条件を生かし、本州からの移住人口を増やしたいものです。また、釧路で心配される津波による災害の危険性がないということも利点です。

また温泉熱を利用した植物工場のシステムを取り入れる事は出来ないか検討、模索中である。

この施設を作ることで、釧路地域の人口減少を少しでも抑えることが期待できるほか、さらに雇用創出でも貢献できるのではないのでしょうか。今までお世話なってきました取引業者さんにも、多少なりとも恩返しができるのではないかと、そんな夢を追っているところですが、大変厳しい戦いになると思います。



■平成 28 年 6 月 「株式会社 NISHIKI WORKS」を設立

有限会社 錦興建より、水道用メーターボックス、水道仕切弁弁筐下部架台、パークゴルフスタート台、ティーグラウンド、ティーマットなどの製造販売の権利と、土地 989㎡ (299.7 坪) と倉庫・作業場 366.87㎡ (111.17 坪) を購入しました。場所は幕別町字千佳 397 番地 79 で、1,400 万円でした。新たに「NISHIKI WORKS」と名付け新会社を設立し、上記商品の製造販売を平成 28 年 6 月から開始しています。こちらも代表取締役社長として松本真樹が就任し、業務に当たっています。



私の思いと心に残る「語録集」

長江 文男

- 天は人の上に人を造らず
人の下に人を造らず 福沢諭吉
- 驚きを禁じ得ない 三つ子の魂 百までも
親は しっかり抱いて そっと降ろして
歩かせる
- 犬も歩けば棒にあたる 論より証拠
聞かざる言わざる 聞くは一時の恥
- 学びの原点は苦勞 汗を流して体験する
ことで大事なことが見える
- 当たり前ができることが大事
小さなことでも休まず継続すると
平凡な人が凄い人になる
子供に求めるならまず 自ら率先して
やらなければ相手の心は動かない
- これまでどう生きてきたかではなく
今をどう生き これからどう生きて
行こうとするかが大事
- 良薬口に苦し忠言耳に逆らう我に眉突く
とんでもないやつだ
- 会議で右ならえ式だと議論がない
事になる それでは発展なし
報告 連絡 相談 (報連相)
- 人生は冒険 危険は付き物
恐れていては前に進めない
- 恩返しの気持ちで老骨にムチ打つ道は開ける
- 40.50. は^{はな た}涙垂れ小僧 60.70. は働き盛り
90. になってお迎えが来たら
百まで待てと追い返せ
- 挑戦しなければ運は向いてこない
挑戦する事で成功が生まれる
- よく叱る 上司に馴^なれた馬の耳
- 父親の時代は 55 歳が定年 それが 60 歳に
そして 65 歳へと延びようとしている
それは健康 寿命の延び
少子化に伴う労働力不足か?
- 幸せとは 裏を返せば
苦勞と 努力と 忍耐と 感謝の結果
- トップセールスマンの極意モノを売るのでは
なくて 人を売れ 人は人について来る
- 周りの人よりも背伸びすると転んでしまう
自分の能力以上の事をするとう失敗する
常に自らの足下を見つめ自分の能力を最大限
に発揮することが大切だ。
- 傲^{おご}らず 昂^{たか}ぶらず いちずに経営に打ち込んだ
商売はまさしく戦場だったが勝ち抜く武器
は信用の 2 文字だった
- 商いは飽きないに通じる 商人はあきんどだろう
- 商売とはお互いに喜び 喜ばれることである
- 得意の時こそおごり高ぶらず
失意の時は逆に意気消沈^{しょうちん}せずに
ゆったり構えなさい
(得意たん然) (失意泰然)
- 心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば人生が変わる
- 変化を恐れない 変化への準備対応の力
- よしやるぞ 途中でやめてたまるか
次代の子供たちにどんな宝物を残せるか

- だれも恨むわけには行かない 自然の厳しさ
や近所の人たちと助け合わなければ暮らして
いけない生活 三つ子の魂し百までも 標茶
で培われた辛抱強さや 人と人は協力し合う
ものだという意識はだいじ
- 人生は生涯 戦いの連続 前進また前進
- 自分のナマの言葉をさらけ出して善し悪しを
判断 評価してもらう
- 何としても負けてたまるかのハングリーな気
持ちを大切にしよう
- ホスピタリティーおもてなしの心
気持ちのこと
- 朝こそすべて 人生 朝に働き昼に語らい
夕には祈れ
- 早起き 三文の徳 早寝早起き病い知らず
- 目おかける 気にかける 声おかける
手間ひまかける 根気強く実践
- 先手必勝 先んずれば則ち人を制す^{すなわ}
終わり良ければすべて良し
- 人の足を踏んでいる人は
踏まれている人の痛みに気がつかない
- 声をかける勇氣と 助ける勇氣 小さな勇氣
だけど 大きな行動になる
- 三方よし。。。売り手よし 買い手よし 世間よし
- 人権を守っていく努力
それは人を思いやる優しい気持ちを
持つことだと思います
- はたらけど はたらけど
^{なお}猶わが生活楽にならざり じっと手を見る
- 創業時の失敗 苦勞を含め、
自分の正直な考えを包み隠さず 語る
経営者は不況など外部環境を
口にしてはならない
公明正大に誠実に対応するということは
口で言うほど簡単でない
- 人の一生はその人格が完成されてゆく^{どうてい}道程で
ある 人間の一番貴いのは老年である^{とおと}
偉大なる人の晩年くらい^{みごと}美事なものはない
- 多くの人の鏡を通して自分を見つめ直し
本当にそうだろうか と自問するところから
始めるよう心掛けている
- 世の中にはさまざまな考えや視点があり
それらを知るために必要なのは情報の交換
コミュニケーションでその基本は会話である
と思う 努力せずして 進歩なし
- 絆は本来 繋ぎ止め置く網の意^{つな}
それが人と人との結びつき助け合い
支え合いを目指す一步になった
- 政府はお金を取られる人の心配ばかりする
本末転倒だ
- 自主 自立 自己責任 自己改革
 - 過去と他人は変える事はできない
 - 自分と未来は変える事ができる
 - 自分の足で立つ改革
 - 目配り 気配り 心配りも立派な^{ちえ}智慧だ
- 人生に楽な道などなかりけり越えた喜び白寿
にまざる
- 人生には今の時間は今しか無いと認識し
仕事にどう取り込むか

私の思いと心に残る「語録集」

長江 文男

●これからもお客さまとの出会いを大切にし
その出会いをさらに新たな信頼関係につなげる

●自分の限界は自分の意識の中にある
人生はその気がないことは実現しない
志を高く持つこと 能力なんかじゃない

●^{そう}壮にして学べば老いて衰えず
老いて学べば死して朽ちず
生涯勉強 生涯学習 と昔の人はいい言葉を残している

●夢を語ること 挑戦こそ革新なり 根拠はない自信を持って

●今年はこれから何を残せるかを意識して
動いていきたい

●現状打破を肝に銘じていただきたい
現状維持は衰退につながる
自分の仕事を自問し
自分の存在価値を高めていってほしい

●人を変えようと思えば
まず自己を変えなければならない

●その^{かんじん}肝腎なことを忘れて
他人をどうこうしようと
思ってもうまくいきません

●今はその時なり その時は今なり
普段から心がけていれば
何が起きてもすぐ対処出来る
努力を怠ってはいけない

●五ない主義 ミエがない 気どらない
かまわない 怒らない いばらない

●やってみせ 言ってみせて やらせてみて
ほめてやらねば 人は動かじ

●他人のために汗をながせ 頼まれ事はきちんと始末せよ 結果をすぐ求めるな 損して得をとれ手柄は先輩や仲間に譲ることだ いつも手柄欲しさに走り回ってれば人間が小さくなる 約束したら実行せよ 安請け合いはするな 身に余る以後は引き受けるな 相手が迷惑するしこっちも信用を失う できない理由を丁寧に説明してお断りしろ

記 田中角栄

●何事も本腰にならねば いい仕事は出来ない
新しい力も生まれてこない
本気 本腰 いい言葉だ

●しつけの三原則
朝必ず親に挨拶をする子にすること、
親に呼ばれたら必ず（ハイ）とハッキリ返事の出来る子にすること
履物のを抜いたら必ずそろえ 席を立ったら必ず椅子を入れる子にすること

●仕事十訓

(1) 基本に忠実あれ

（基本とは 困難に直面した時 志を高く持ち初心を貫くこと、常に他人に対する思いやりの心を忘れないこと）

(2) 口先やアタマの中で商売するな 心商売せよ

(3) 生きたカネを使え 死に金を使うな

(4) 約束は守れ 守れない約束はするな

(5) 出来ること 出来ないことをハッキリさせ
イエス ノーを明確にせよ

(6) 期限のつかない仕事は「仕事」ではない

(7) 他人の悪口は言うな 他人の悪口が始まったら耳休みをせよ

(8) 毎日に仕事をこなしていく時 「いま何をする 事が一番大事か」ということを考えよう

(9) 2人で同じ仕事をするな、お互い相手がやってくれると思うから「抜け」が出来る

(10) 一人であれば緊張感が高まり 集中力が生まれて良い仕事ができる

●「聞き上手になる為の 12 箇条」

- 終始聞き手に回る
- 真剣に聞く
- 相づちを打つ
- こちらからは積極的に話さない
- 話を途中で遮らない
- 相手が同じ事を話しても初めての様に聞く
- 途中まで聞いて先回りするような事はせず
- 相手に最後まで言わせる
- クドクドした話でも辛抱強く聞く
- 相手を批判しない
- お説教しない
- なるべく笑みを絶やさない
- 聞いたことをむやみに他人に話さない

●善を行えば 心安らかにして 生きる喜びあり

●「本気」

本気になると世界が変わって来る

自分が変わって来る

変わってこなかったら

まだ本気になっていない証拠

本気な恋

本気な仕事

ああ人間一度は こいつをつかまんことには

●「人に嫌われる発言十か条」

- 君の考えに反対だ
- 君の家族や君が信じているあの人は嫌いだ
- そんなこと誰にも出来る
- その事ならオレが知っている
- 君の失敗の理由はこうだ
- 私はその事について詳しいのだ
- 君はこのように約束したではないか
- ボクにやらせてみたまえ
- ボクも昔は君のように考えていた
- それは君のひがみだよ

●企業も 企業習慣病に掛かっていませんか

常識が非常識になっていませんか

●仕掛人は 仕事人より 百倍勝る

●労働時間とは

- 買う事は出来ません
- 貯蓄する事も出来ません
- 後戻りする事も出来ません
- 時間は大切に使う事
- 時間は上手に使う事

●時間を常に意識して仕事をしているか

年間 260 日働く計算で (週 40 時間)

(1)年収 300 万円だと 1 分間休むと 24 円損失

(2)年収 400 万円だと 1 分間休むと 32 円損失

(3)年収 500 万円だと 1 分間休むと 40 円損失

(4)年収 600 万円だと 1 分間休むと 48 円損失

●商売の基本

- 挨拶 電話の対応の声は大きく 礼儀は正しく
- 商売の基本は お客様に感動(喜び)を売る事
- 職人は相手の立場で仕事をする事
- 夢は限りなく 努力は惜しまない

●企業は常に果敢に挑戦する者だけが生き残れる

そして一人一人が最高の力を発揮する事です

●夢は限りなく 努力は惜しみなく

全員で目標に向かって頑張ろう

●自分を責めても 人を責めるな

●苦を知る人の心はあたたかい

●ありがとうの心が 人の心をひらく

●理屈はあと行動がさき

●自分が動けばまわりも動く

●志あれば道は拓ける

私の思いと心に残る「語録集」

長江 文男

- 心と心を結びつける仕事がしたい
- そこに住む人に惚れ その土地に惚れ 仕事に惚れる 三惚れが高じて老後はこの地に住もうかという人も出てくる
まちの魅力は人の魅力に重なる まちづくりの前に人づくりと言われるゆえんである
- 限界だという弱気の虫をいよいよこれからだの負けじ魂に変えてみたい
会社の為に自分が何をすべきか考えるところを他人が何をなすべきかを語ることに費やしている これでは企業は死があるのみ
- 長所が伸びれば 短所が消える
短所を消しても長所は伸びない
- 眉をひそめている人よりは 明るく楽天的な人と付き合えば自分も元気になれる
自分の表情が明るくなれば脳にもよい影響を与える
- ふるさととは遠くにありて思うもの
ふるさとの山は有難きかな
のど元過ぎれば熱さを忘れる
- は 半分でいい
ひ 人並みでいい
ふ 普通でいい
へ 平凡でいい
ほ ほどほどでいい
- 踊る阿呆に 見る阿呆 おなじ阿呆なら踊
にや 損 損
- 人生は自分で自分の柄に合う舞台を作る芝居である
己の道を突き進んでいる
- 友情と交流の輪を広げ 夢と希望に満ちた心温まる実り多い大会にしたい（法人会）
- あたし達は死に絶えやしない
人間は続いていくんだよ、、、
人生いろいろある それを自然に受け止める
- 事業の進歩 発展に最も害するものは青年の過失ではなくて 老人のぼっこである
(ぼっこは勝手な振る舞いをさす)
- 稼ぐに追いつく貧乏はないと 辛抱強い人です
- 会社があなたに何をしてくれるのかを問うのではなく あなたが会社の為に何ができるのかを考えてほしい
- どんなに苦しい状況でも 他人への思いをはせる能力が あなたは微力かもしれないが無力ではない未来への一歩
- 正しいことを言う時は少し控えめにする ほうがいい 正しいことを言う時は相手を傷つけやすいものだと気付いているほうがいい
- 選ばれる会社 店 商品
商品ではなく体験を売る
安売りはせず 高くても納得できる
メリットや情報を伝える
リピーターを増やすには顧客満足度 向上より客へのこまめな連絡を
- 夢を持ち続けることの大切さ、
人の優しさや心が伝わる社会づくりを
- 風で舞い上がる枯れ葉も やがて冬が来て春が来れば土に戻る
- 若い稲穂は真直ぐに天を仰ぎ。
成長した黄金色の稲穂は頭を垂れる
(リーダーとなる人)
- 転ばぬ先の杖 後悔先に立たず
備えあれば 憂いなし 遠慮なければ近憂あり

●失敗したり 恥をかいたりするのは
若者の時にいっぱいしたほうがよい
人の優しさにふれるのは
恥ずかしい思いをした時に慰めてもらったり
励ましてもらった時です

●経営者の心

- 経営者とは何が正しいかを洞察し それに
生命をかける者である
- 経営者とは全社員の心配を一人で背負う人
である
- 経営者とは 自己弁護も 一切の言い訳も
出来ない最後の責任を常に背負っている人
間である
- 経営者とは 更に良い経営者として向上の
信念をもつ人である

●他人がしたら腹を立てることを自分は知らず
にやっている すべての人々 我が悪し気こ
とには気づかない

●踏まれても踏まれても根強く生きる野辺の草
タンポポ ハコベ などは背丈を低くし子孫
を残す

●利益を上げるには まずお客様の利益を作ら
なければならない そこから始まる

●人の喜怒哀楽、生きとし生きるものすべてを
包み込んで太平洋の彼方に沈んでいく真っ赤
な夕日

●人間の研究極の幸せとは

- 1、人に愛され
- 2、人に誉められ
- 3、人の役にたち
- 4、人に必要とされる

●よく売る人は お客様の声を積極的に集めるも
のだ 苦情 苦言の中に売れるヒントがある

●交際マナー十訓

- 先輩には敬意と礼を失うな
- 後輩の面倒はよくみよ
- 老人を敬え^{うやま}
- 隣人とは助け合え
- 恩には報いよ
- 目下の者にはいばらない
- 他人には親切に接しよう
- 友人を大切にせよ
- 同業者の悪口 陰口を言わない
- 女性にはいたわりの心で接しよ

●新人十戒

- たった数分の遅れが人生の遅れにつながる
- ビジネスマンなら安易な欠勤は慎もう
- 仕事はその日のうちに、明日の朝はあてに
するな
- サボりは絶対に隠し切れないと心得よ
- 仕事の基本は集中力 「ながら族」に大成の
文字はなし
- 手抜き作業は必ず結果にあらわれる
- 昼休みと言えども勤務の延長と心得よ
- 私用電話 私用外出は極力控えよ
- 約束時間を守らないのは盗人と同じ
- 生活の中心には まず仕事を置くべし

●セールスマン八訓

- 販売する商品の全知識をマスターする
- 自社製品に絶対の自信を持つ
- 行動力と販売テクニックを研究する プロ
意識に徹する
- 自己管理を厳しく
- 目標を持つ
- 会社 上役の批判をしない
- チャレンジ精神を養え

●上から抑えられ 下からの突き上げで
辛い中間管理職を^{げきれい}激励する（ひるむな）
自分で生きて行く力で自助と他人を助け
他人に助けられる共助がある

私の思いと心に残る「語録集」

長江 文男

●プロ根性養成訓

- 実践 実践 また実践
- 修練 修練 また修練
- やって やって やりとおす
- おれがやらねば 誰がやる
- 今をおいて いつできる
- やって やれないことはない
- やらずに出来るわけがない
- やって やって やりとおす

●人の力 地の力 和の力 ポケットには
チエを額には汗を●お客様 同僚から感謝され感心され
一人でも多くの人に感動を与えてほしい●閉塞感があると言われる時こそ新しい
時代が先に開けている 希望を失わず
大きな夢を

●昔の言葉。

歲月人を待たず 早起きは三文の得
人のふり見て我がふり直せ 百里の道も
一歩から 蒔かぬ種は生えぬ 食べ物を
粗末にすると罰が当たる 一円を笑う者は
一円に泣く 勝てば官軍 寄らば大樹の陰な
せば成る なさねばならぬ何事も成らぬは人
のなさぬなりけり

●厳しい寒さに見舞われて 昔は湯たんぽを入
れ寝ていると翌朝布団のえりに真っ白く霜が
付く●郷土ありて我があり 郷土を愛して
仕事に徹し人と和す●なせば成る 成さねばならぬ何事も
ならぬは人の 成さぬなりけり

●忠告する場合の六つの条件

相手の嫌がっていることは指摘するな
相手の欠点を数え上げるな
相手に逆らってはならない
つつけんどんな言い方をしてはならない
くどくどお説教してはならない
同じことを繰り返してはならない

●幸福な家庭をつくる七原則

口やかましく言わない
長所を認める
あら探しをしない
ほめる
ささやかな心づくしを怠らない
礼儀を守る
正しい性の知識を持つ

●仕事を楽しむ

- 人間の一生は日々の総和でしかない
1日の怠慢はそれだけ一生を小さくする
- 不平は仕事を食い荒らすのみならず
自分自身まで食い荒らす どうせ一生やら
ねばならぬ仕事なら面白く働く方が懸命で
ある
- どんな仕事でも自分の仕事と思うことだ
それだけで もう仕事は楽になる
- 新しい仕事をするに当たって失敗を恐れる
な失敗こそ成功の母 失敗のないところに
創作も発明 発展もない
- すべての仕事は期限前にせよ 出来上がった
仕事に反省と再検討を忘れるな
- つねに同一の箇所に足踏みするな 一歩一
歩毎に前進せよ
- 先から先へと考えよ 世の中に行止りはない

●前例主義にとらわれず果敢に挑戦し

社員と一緒に協働で汗を流し 希望に
満ちた事業の展開を進めたい

- 七転び八起き倒れても起き上がり
転んでも立ち上がり 力をおとさず
希望を捨てず
- 仰げば尊し 我が師の恩 教えの庭にも
はや幾年 思えばいと疾し このとし月
今こそ別れめ いざさらば
- 知るのは一時の恥 知らぬは一生の恥
- 相手に喜んでもらえるのが仕事 それ以外は
作業
- 失敗こそ成功の母
失敗なくして成功なし
失敗こそ成長
- その時の出逢いが
その人の人生を 根底から変える
ことがある 良き出逢いを
- サラリマン川柳。
○仕分け人 妻に比べりや まだ甘い、
○ただいまは 犬に言うなよ オレに言え
○離さないで 十年経つと 話さない
○先を読め 読めるわけがない 先がない
○体脂肪 燃やして発電 出来ないか

- サラリーマン川柳ベスト 10
 - 1 ゆとりでしょ？ そう言うあなたは バブルでしょ？
 - 2 久しぶり！ 聞くに聞けない 君の名は
 - 3 ありのまま スッピンみせたら 君の名は？
 - 4 同窓会 みんなニコニコ 名前出ず
 - 5 「パパお風呂」 入れじゃなくて 掃除しろ
 - 6 君の名は ゆとり世代の 名が読めず
 - 7 病院で サミットしている 爺7
 - 8 ばあちゃんが オシャレにキメる 通院日
 - 9 オレのボス ヤフーでググれと 無理を言う
 - 10 職場でも 家でもおれは ペコ太郎
- 5/24 サラリーマン川柳 第一生命







次の未来へ。

長江建材グループ 礎の46年間。

平成 29 年 6 月 25 日発行

発行：長江建材株式会社

〒 085-0008 北海道釧路市入江町 12-19

TEL:0154-24-4141 FAX:0154-22-9391

URL:<http://www.nagaekenzai.co.jp/>

印刷：釧路総合印刷株式会社

